

大学生協オリジナルセットアップテキスト

FUJITSU LIFEBOOK

UH08、09/H3シリーズ

※Microsoft Officeについては購入された大学生協店舗からの案内をご確認ください。

箱を開ける前に必ずお読み下さい

全体作業所要時間は最低で1時間程度です。
※Microsoft Officeを設定しない場合の参考時間です。



目次

1: 無料パソコン電話サポート	(p4)
2: セットアップの準備	(p5)
3: Windowsの設定	(p10)
4: デバイスの暗号化について *必読*	(p25)
5: Windows11の主な操作について	(p34)
6: Windows Update	(p46)
7: 活用編	(p48)

このパソコンは大学生協オリジナルモデルです。
一般に販売されているパソコンとは異なる点がありますので
このセットアップテキストを使用して設定して下さい。
本セットアップテキストは大学生協が発行しております。

パソコンをご使用になるまでの流れ

1. 無料パソコン電話サポート (4ページ)

今回ご購入いただいたパソコンには、無料で問い合わせできる電話サポートがついています。困った事がありましたら、お気軽にご相談下さい。

2. セットアップの準備 (5ページ)

パソコンは他の電化製品と違い、電源を入れてすぐに使用することができません。初めて電源を入れるときには、セットアップという作業が必要となります。このセットアップテキストでは、初めての方にもわかりやすく解説していきます。

——ここからインターネットの接続が必要です——

3. Windows の設定 (10ページ) 約10分

初めて電源を入れたときにWindowsのセットアップが開始されます。使用者ご本人の登録など、基本的な設定を行います。

4. デバイスの暗号化(BitLockerの機能)について (25ページ)

本章はWindowsのセットアップに関するページではありませんが、ストレージが暗号化されていることで発生する、パソコン修理時のトラブルを回避するために必読いただきたいページです。

5. Windows11の主な操作方法について (34ページ)

本章はWindowsのセットアップに関するページではありません。
Windows11の基本操作をご案内していますので、必要時にお読みください。

6. Windows Update (45ページ) 約30分

セキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです。Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、ウイルスに感染してしまう可能性があります。

パソコンを正しく快適に使うために気をつけよう！

振動 衝撃に 注意！



パソコンは衝撃や振動に弱いものです。持ち運び時にはケースに入れるようにしましょう。それでも自転車のカゴに入れるのは禁物です。振動でハードディスクやボディが壊れる恐れがあります。また、満員電車の圧力で破損した例もあります。机からの落下も破損の原因になりますので注意しましょう。

置き忘れ、 盗難に 注意！



学内や電車の網棚、飲食店などへのパソコンの置き忘れが毎年発生しています。ちょっとトイレに行った隙に・・・というケースもあります。パソコンは高価な商品ですが、それ以上に個人情報などの大切なデータがたっぷり詰まっています。コンパクトで持ち去られやすいので、盗難などにも注意しましょう。

液晶画面の 取扱いに 注意！



液晶画面はガラスです。衝撃や強い圧力で破損します。例えば、PC本体をぶつける、画面を指で押す、キーボードの上にUSBメモリやペンなどを置いた状態でフタを閉じる、PCの液晶ディスプレイ側を持って本体を持ち上げるなどの取り扱いを行うと液晶画面パネルが破損します。掃除の際にも柔らかい布やクリーナーでやさしく拭き取るようにしましょう。

飲み物に 注意！



パソコンは電子機器なので、水にとっても弱いものです。部屋の中やカフェなどでうっかり飲み物をこぼしてしまうケースが意外に多いです。パソコンの操作中は出来るだけ近くに飲み物を置かないようにしましょう。また、ちょっとした水滴から守るためにも、キーボードカバーを使うという方法もあります。

※破損、水濡れ等はメーカー保証期間内でも有償修理になります。

1. 無料パソコン電話サポート

今回ご購入いただいたパソコンには、無料で問い合わせできる電話サポートがついています。困った事がありましたら、お気軽に「大学生協 無料パソコン電話サポート」にご相談ください。

サポートのご利用方法

下記の電話番号にお電話ください。

※初めてのお問合せの時は、氏名・電話番号・大学名・PC型番(外箱や保証書に書かれています)をお聞きます。

※次回のお問合せからは電話番号のみお伝え下さい。

SUPPORT

大学生協

無料パソコン電話サポート

大学生協パソコン電話サポートは、大学生協オリジナルパソコンをご購入いただいた皆様のヘルプデスクです。対象のパソコンやプリンターにトラブルが発生した場合、下記要項により大学生協パソコン電話サポートにご相談ください。
●全国の大学生協が共同で設置している電話サポートセンターです。

サポート期間 2023年12月1日～2025年2月28日

電話相談受付時間 10:00～23:00
(土・日・祝祭日も可・年末年始も含む)

安心して
お電話ください！
専門のスタッフが
ご対応します。

サポートのご利用方法

- 電話サポートに問合せ
大学生協専用ダイヤル… **大学生協無料パソコン電話サポート**
(フリーコール) **0800-300-3337** (携帯電話可)
お問合せ対象のパソコンに電源が入った状態で問合せください。
- 初めての問合せの時は、お名前・電話番号・大学名・
パソコンの機種(型番)をお聞きます。
- 電話サポート開始
※サポート内容によっては、遠隔操作での対応も可能です。

大学生協無料パソコン電話サポート利用時のお願い

- 電話相談はメンバー制なので大学生協のオリジナルパソコンご購入の方だけが対象となります。
- 初めてのご相談の時にメンバー登録をします。2回目からは電話番号を伝えてください。
- 電話をする際、対象となるパソコンのメーカー名、機種名、ソフト名を正確にメモしてください。
- お問い合わせ時、トラブルに至る経緯、トラブルの状況を正確にお伝えください。
- 学内LANへの接続についてのトラブルは学内のNetwork管理者にお問合せください。
- ご自身でインストールされたソフトや、増設された周辺機器につきましては、サポートできない場合がございます。

※パソコン電話サポートでご提供いただいた個人情報(電話サポートの連絡以外では利用しません。また個人情報に關して適用される法令、規範を遵守するとともに、情報の適切な管理・保護に努めます。詳しくは全国大学生協連合会ホームページ「個人情報保護に関する基本方針」<http://www.univcoop.or.jp>をご覧ください。



uct2023001

サポート期間: 2025年2月28日まで
電話相談受付時間: 10:00～23:00
電話番号(フリーコール): 0800-300-3337

※「無料パソコン電話サポート」は、学生様がご自身でパソコンを使いこなせるように成長するための支援を目的としております。
大変恐縮ですが、保護者様ではなく、学生様ご本人からお電話いただきますようお願いいたします。

※ご購入いただいたパソコンやプリンタ専用のサポートダイヤルです。
他のパソコンのご質問は承れません。

※サポート期間終了後のご質問は直接メーカーまたは生協店舗にお問合せください。

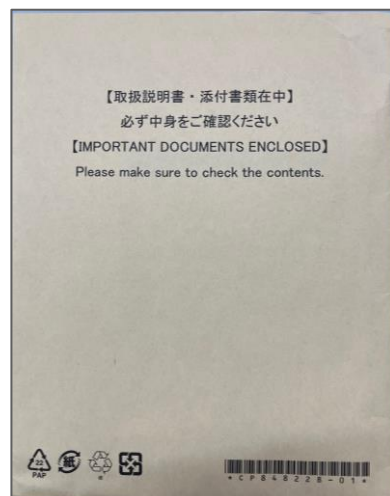
※3月～5月は電話が大変混み合います。
11時～15時が比較的繋がりがり易い時間帯となっています。

2. セットアップの準備

パソコンは他の電化製品と違い、電源を入れてすぐに使えるようになっていません。初めて電源を入れるときには、「セットアップ」という作業が必要となります。この「セットアップテキスト」では、初めての方にもわかりやすく解説していきます。

2-1. 箱を開けたらすぐに 【取扱説明書・添付書類在中】の 封筒の中身をご確認ください。

同梱物の一覧は
「取扱説明書スタートガイド」の
『添付品について』に記載されていますので、
そちらで確認をして下さい。
※同梱物が無い場合は、すぐに生協店舗へ
ご連絡下さい。



このノートパソコンは4年5カ月保証となっています。
箱の中にある袋内の「保証書」をご確認下さい。
今後パソコンの動作がおかしくなったり、パソコンが壊れて修理する際に必要な
ものもありますので、**⚠ 付属品は全て大切に保管して下さい。**

特に下記の付属品を無くした場合は有償の修理になったり、同じものを購入するのに数万円かかります。

Fujitsu 保証書		お客様保管
引取修理	品名 LIFEBOOK UH09/H3 型名 F- 製造番号	販売店/販売会社様へお願い ご販売時に、お買い上げ日、貴店/貴社名、住所、電話番号をご記入のうえ、 本保証書をお客様にお渡しください。 住所・会社名（または店名）・電話番号
最初の電源投入時に本製品内に記録される「保証開始日」を別途ご確認のうえ、下記「保証開始日」欄に必ずご記入願います。保証開始日の記入がない場合、保証期間中であっても有料修理となります。		
保証開始日	保証期間	
年 月 日	保証開始日より4年5ヶ月間	
(お買い上げ日記入欄 : 年 月 日)		
修理記録	富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター ●ハードウェアの故障・修理のご相談窓口 Web受付: ネットで修理申し込み https://azby.fmworl.net/bm/repair/ 電話窓口: 故障や修理に関する受付窓口 0120-926-220(通話料無料) 携帯電話、IP電話などからのご利用 045-514-2260(通話料お客様負担) 受付時間・休業予定等はWebでご確認ください https://azby.fmworl.net/support/ ※電話番号はお間違えのないよう、十分ご確認のうえおかけください。	

・本保証書は、保証期間中、裏面の「無料修理規定」に定める範囲で本製品を無料で修理することをお約束するものです。＜必ず裏面をご覧ください。＞
・本保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
・保証期間終了後の修理等、アフターサービスについてご不明な点は、本保証書記載の修理受付窓口またはお買い上げの販売店/販売会社へお問い合わせください。 CP745188-02

□ メーカー保証書（箱の中に貼付されています）

2-2. セットアップに必要な物を取り出して下さい。



□ 電源アダプタ

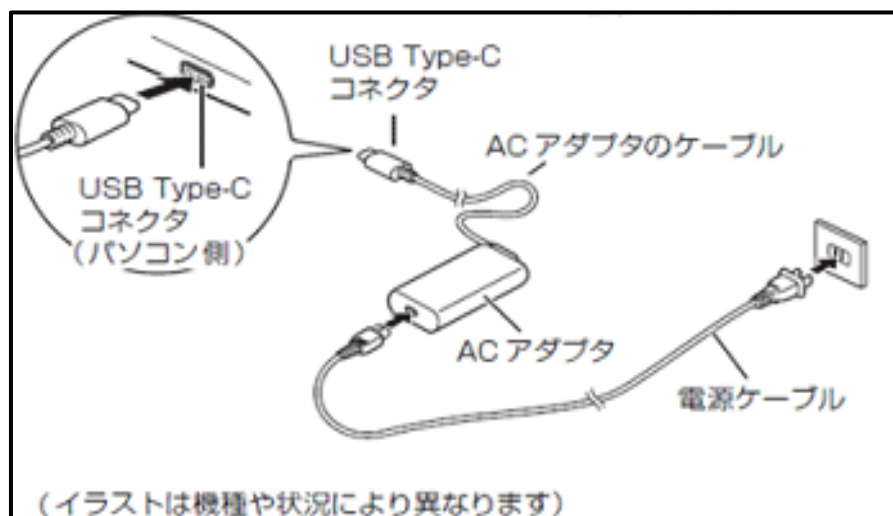


□ 電源ケーブル

注!意

紛失した場合、同じものを購入するのに数万円かかります。大切に保管して下さい。

2-3. 本体にACアダプタと電源ケーブルを接続します。



- 1 ACアダプタに電源ケーブルを接続します。
- 2 パソコン本体左側面のUSB Type-Cコネクタに接続します。
(2箇所御座いますので、どちらでも対応可能)
- 3 電源プラグをコンセントに接続します。

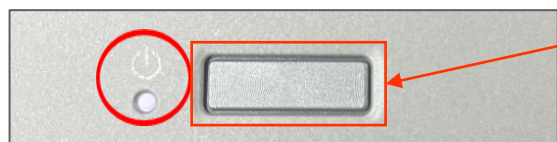
【重要】

※電源を入れる前に必ず AC アダプタを取り付けてください。
セットアップ中にバッテリーがなくなると、電源が切れて Windows セットアップに失敗し、Windows が使えなくなる場合があります。

※セットアップ中は、電源に接続したままにしてください。



電源に接続したのみではインジケータは点灯しません。



電源ボタン
電源を投入すると、 および、
左横の  が白色に点灯します。

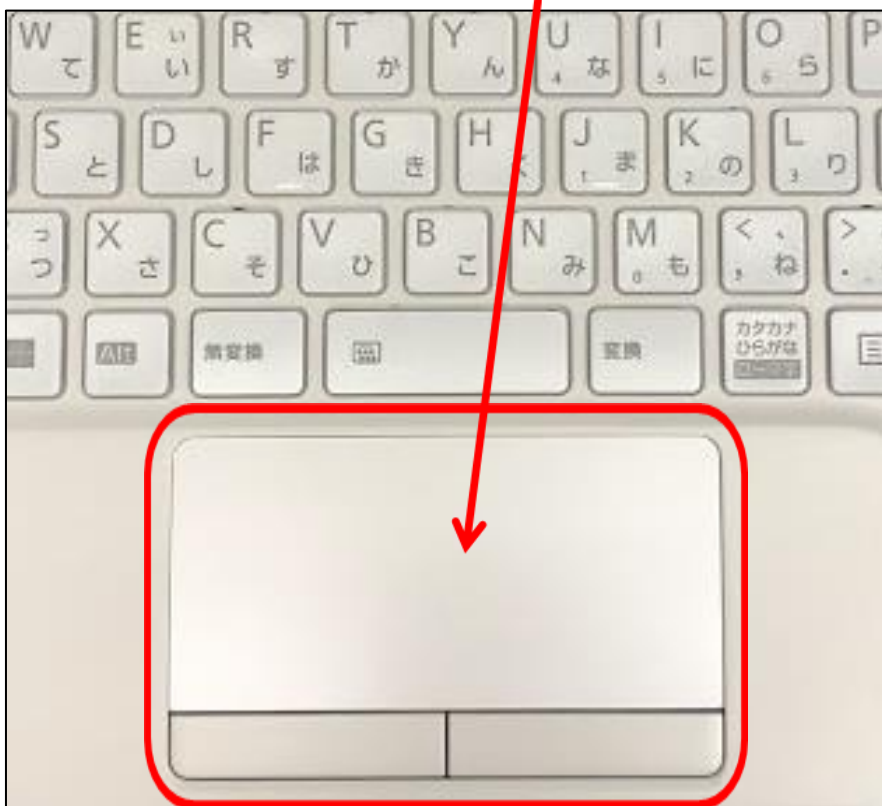


※  は、過充電防止の観点からバッテリー残量が90%以下になるまでは「オレンジ色点滅」しません。

2-4. セットアップの注意点

パソコンを起動し、一定時間操作を行っていないと「省エネ」の為、液晶画面を自動的にOFFにする(スクリーンセイバーなどの)動作を行います。

セットアップ中に画面が暗くなったときはタッチパッドに触れると画面が戻ります。



タッチパッドに触れても復帰しない場合

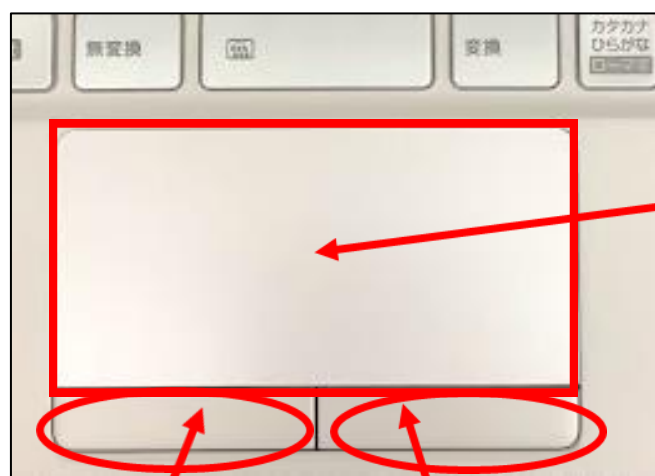
タッチパッドに触れても画面が戻らずに本体の電源ランプが点滅している場合はスリープモードという状態になっています。

その場合は、電源ボタンを操作すると画面が元に戻ります。
覚えておいてください。

※異常状態が長く続くとき(10分以上)は電話サポートにお問い合わせください。

タッチ패드操作を覚えましょう！

ノートパソコンのタッチパッドを簡単に説明します。
タッチパッドが初めての方は一読しておいてください。



タッチエリア

タッチエリアに指1本を当てて動かすと画面上のマウスカースルを動かすことができます。



マウスカースル

基本操作としてはマウスカースルを動かして画面上のアイコンや文字、リンクに合わせ、**左クリックボタン**でクリックや**ダブルクリック**をします。

左クリックボタン

右クリックボタン

★クリックの種類

・クリック

⇒左クリックボタンを1回押すこと

・右クリック

⇒右クリックボタンを1回押すこと

・ダブルクリック

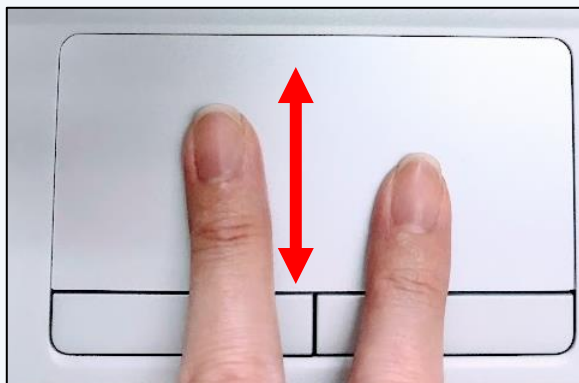
⇒左クリックボタンを2回続けて押すこと

・ドラッグ

⇒左クリックボタンを押しながらマウスカースルを動かすこと

※タッチエリアのタップ(指先で叩く)はクリックと同じ効果があります。
タッチエリアを2回タップすることで**ダブルクリック**と同じ効果があります。

最近の機種は(本機も)下図のように指2本で上下に動かすと画面スクロールができます。



※スマートフォンの様にピンチアウトやピンチインによる拡大縮小も可能です。
色々なシーンで試してみてください。

3. Windowsの設定(所要時間 約10分)

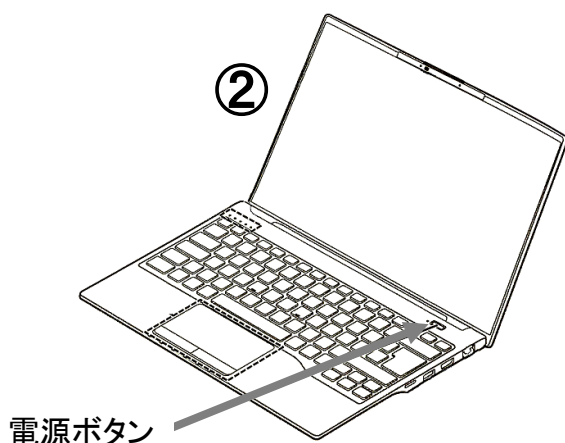
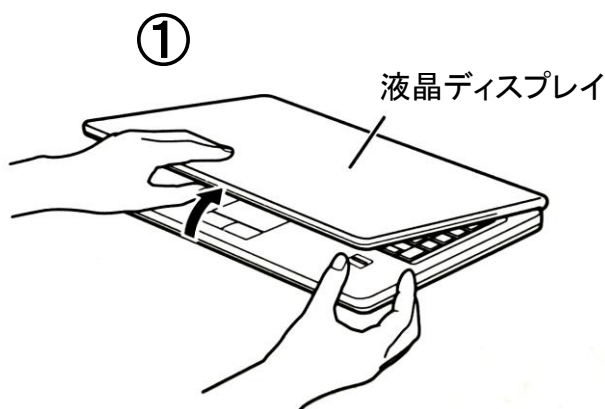
初めて電源を入れたときにWindowsのセットアップが開始されます。使用者ご本人の登録など、基本的な設定を行いましょう。

電源を入れたらセットアップ終了まで電源コードを必ず接続して、電源を切らないで下さい。

【Windowsセットアップの開始】

①パソコン本体のキーボード側と、ディスプレイ上部中央の枠の部分に図のように手を添えて開きます。

②パソコン本体の電源ボタンを押して、電源を入れます。

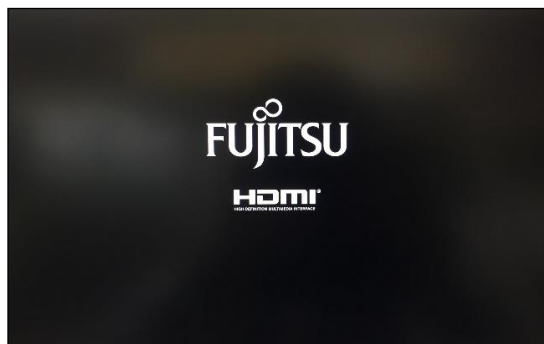
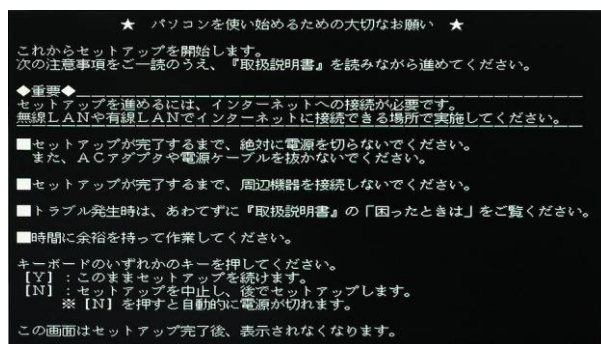


③音が鳴り、左側の画面が表示されます。「y」キーを押して進んで下さい。

④続いて右側のようなメーカーロゴが表示されます。

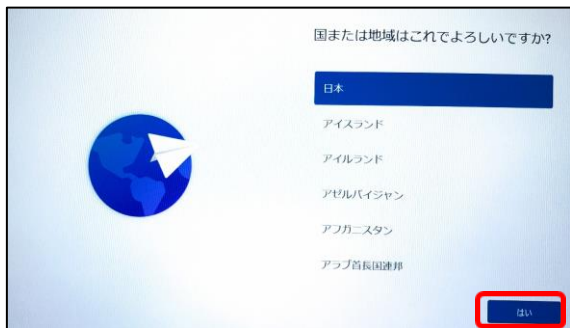
③

④



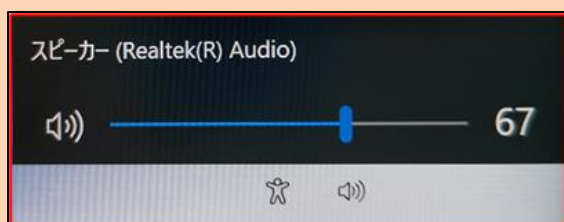
【Windowsセットアップ手順】

⑤



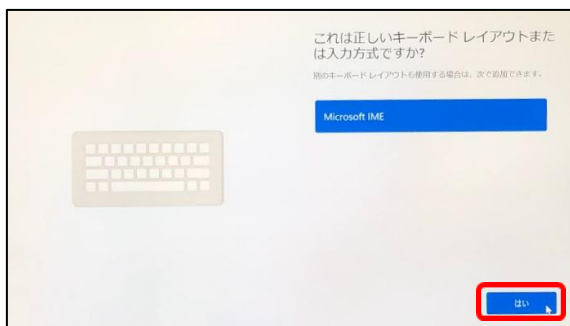
メーカーロゴが表示された後「お待ちください」と表示されます。次に「国または地域はこれよろしいですか?」と表示されます。「日本」が選択されていることを確認し(「日本」が選択されていない場合は「日本」を選択してください。)

【はい】をクリックします。



※スクリーンリーダを使用してWindowsを設定するにはと音声ガイダンスが流れる場合は、左下のスピーカーをクリックし、【音量を下げる】か、【無音】設定に変更することができます。

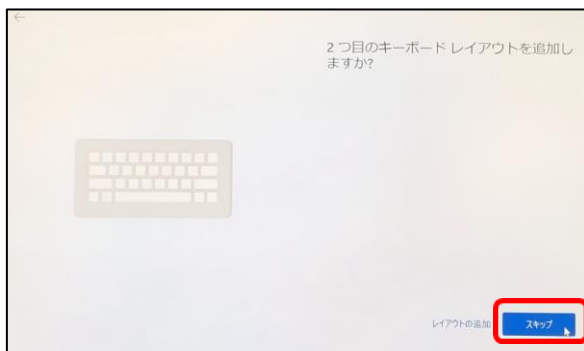
⑥



「これは正しいキーボードレイアウトまたは入力方式ですか?」と表示されます。

「Microsoft IME」が選択されていれば、【はい】をクリックします。

⑦



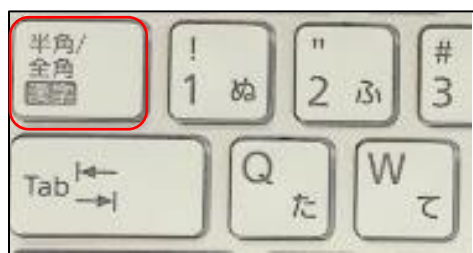
「2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか?」と表示されます。

今は、追加しませんので【スキップ】をクリックします。

<⑧に続きます>

文字入力を覚えましょう！

※手順⑧より文字入力が必要となります。
文字入力不安な方はご覧ください。



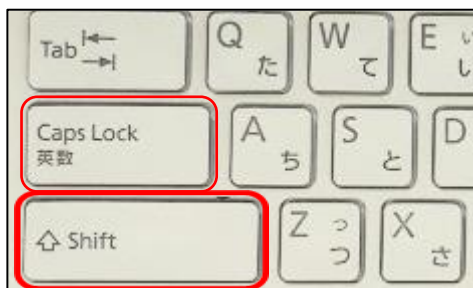
①半角/全角の切り替え方法

キーボード左上の【半角/全角】キーを押して切り替えることができます。

画面右下に表示されている言語バーを見ると、現在の入力の状態を確認できます。



「A」の場合は半角、「あ」の場合は全角になります。



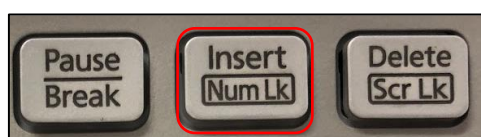
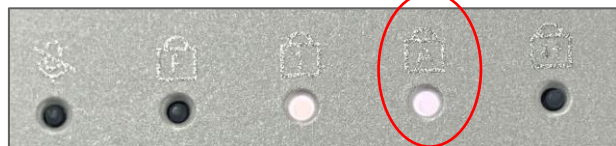
②大文字と小文字の入力方法

キーボードの【Shift】キーを押したまま、文字のキーを押すと大文字で入力ができます。

また【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に大文字で入力ができる設定に切り替えることができます。この機能をCapsLockと言います。

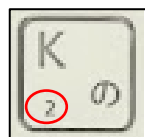
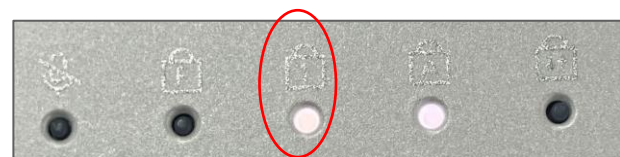
※もとに戻す場合はもう一度、【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に小文字が入力される設定に戻ります。

CapsLock機能が有効か無効については、キーボード右上の  のランプが点灯している場合は有効で、この状態では常に大文字で入力されます。



③NumLockキーについて

文字入力の際に「おはよう」と入力して「6Iはy64」など入力したキーの左下にある文字が入力されてしまう場合は、NumLock(ナムロック)が有効の状態です。その場合はキーボード上方にある【NumLk】キーと、左下の【Fn】を同時に押すと元に戻ります。



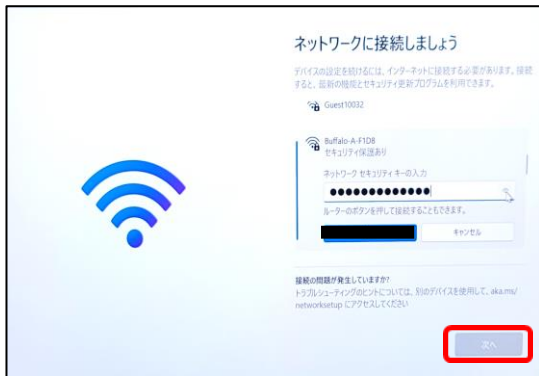
Kを押して2が入力される場合はNumLock状態です。

NumLock機能が有効か無効かについては、 のランプが点灯している場合は有効になっています。

その他便利なキーについては54ページを参照して下さい。

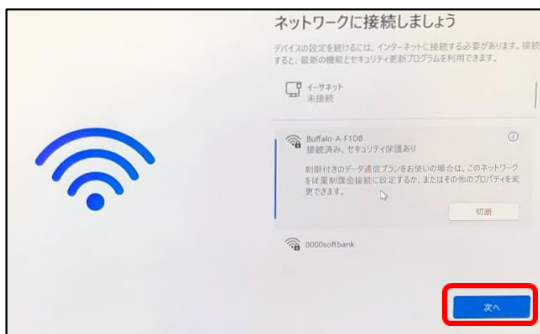
【Windowsセットアップ手順】

⑧



「ネットワークに接続しましょう」
接続先を選択し、パスワードの入
力後、
【次へ】をクリックします。

⑨



Wi-Fiに接続ができたことを確認後、
右下にある【次へ】をクリックします。

⑩



「アップデートを確認しています。」
と表示されましたらそのまましばらく
お待ちください。

※更新状況によっては、自動で
再起動をする場合があります。

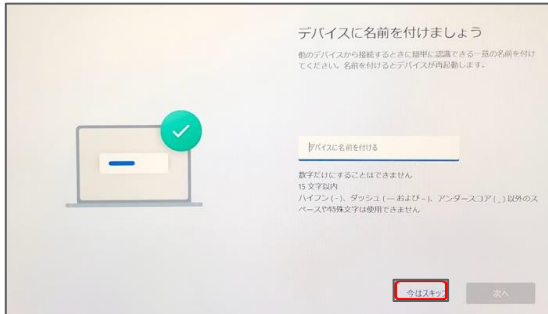
⑪



「ライセンス契約をご確認ください
い。」
と表示されましたら内容の確認し、
【同意】をクリックします。

【Windowsセットアップ手順】

⑫



「デバイスに名前を付けましょう」と表示されますので、【今はスキップ】をクリックします。
※後で設定が可能です。

⑬



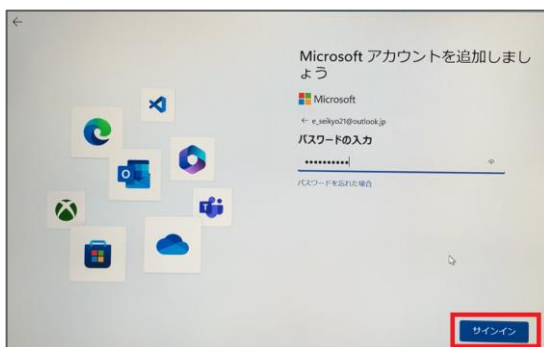
次の画面になったら、【サインイン】をクリックします。
※画面右に表示される文言が異なる場合があります。
※表示されない場合は⑭に進みます。

⑭



「Microsoftアカウントを追加しましょう」と表示されたら、既にMicrosoftアカウントをお持ちの方は「ID」を入力し、【次へ】をクリックします。
※Microsoftアカウントを【新規作成】する方は、15ページ①～を参照してください。

⑮

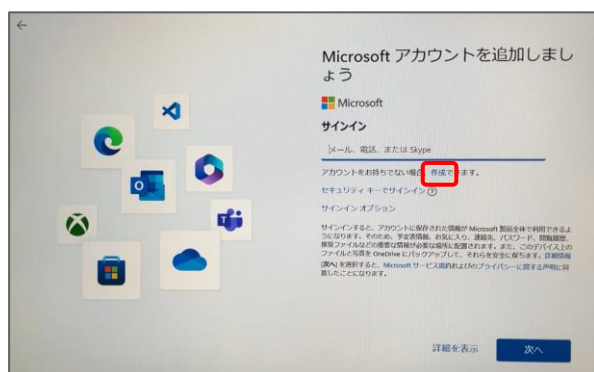


Microsoftアカウントの「パスワード」を入力し、【サインイン】をクリックします。

【Windowsセットアップ手順－新規作成－】

※本手順は、outlook.jpの新規メールアドレス取得の方法で記載しています。

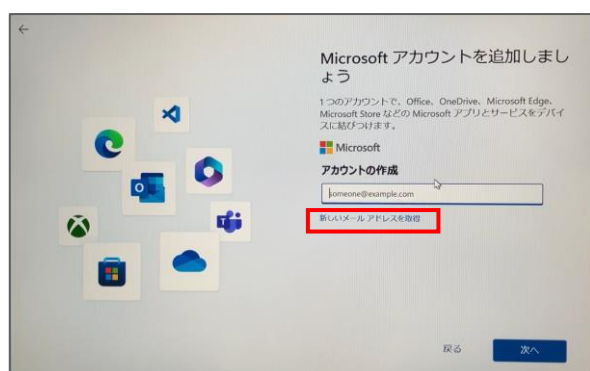
①



「Microsoftアカウントを追加しましょう」と表示されたら、「アカウントをお持ちでない場合、作成できます。」の【作成】をクリックします。

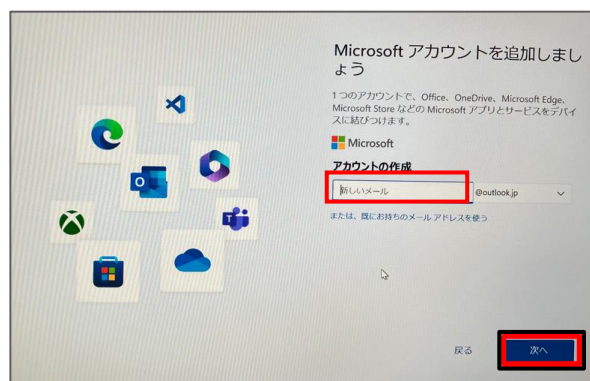
※Microsoftアカウントを既に持っている方は、14ページ⑭～を参照してください。

②



「アカウントの作成」と表示されたら、【新しいメールアドレスを取得】をクリックします。

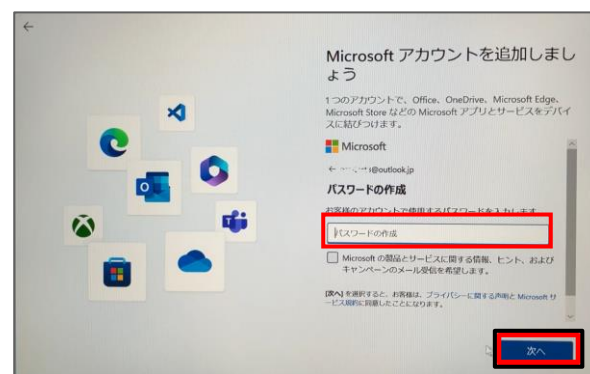
③



【新しいメール】欄にMicrosoftアカウント(メールアドレス)で使いたい文字列を入力し、左下の【次へ】をクリックします。

※半角英数字(a～z , 0～9)
ピリオド(.)、ハイフン(-)、
下線(_)が使用できます。

④



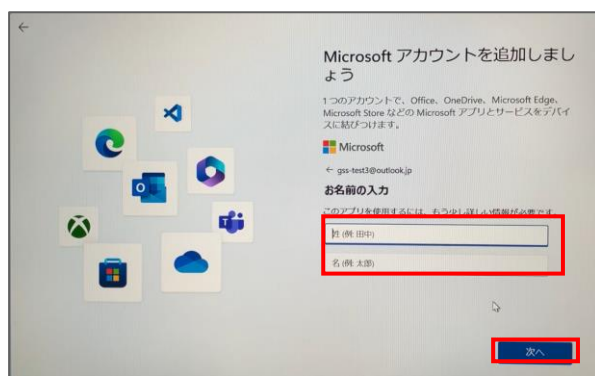
「パスワードの作成」と表示されたら、パスワードを入力し、右下の【次へ】をクリックします。

※半角英数字の大文字、小文字
(A～Z、a～z、0～9)および、半角
記号を組み合わせで作成して下さい。

※Microsoftアカウント、パスワードは忘れないようにしてください。

【Windowsセットアップ手順－新規作成－】

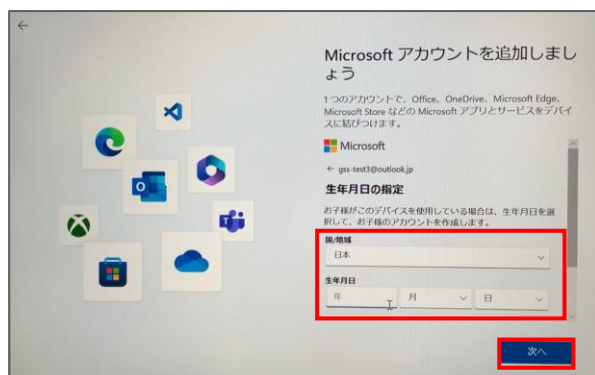
⑤



「お名前の入力」と表示されたら、ご自身の氏名を入力してください。

入力が出来ましたら、【次へ】をクリックします。

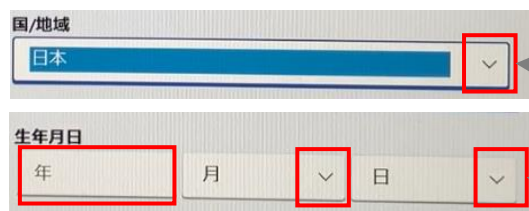
⑥



「生年月日の指定」と表示されたら、「国/地域」を選択します。

※「国/地域」は表記されておりますが、国しか選択できません。

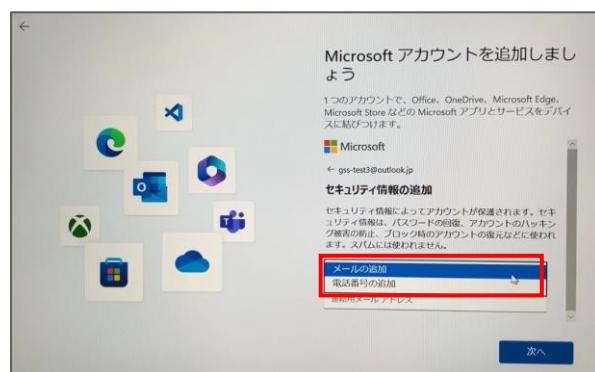
「生年月日」を入力してください。以下の通り選択します。



プルダウンをクリックし選択します。

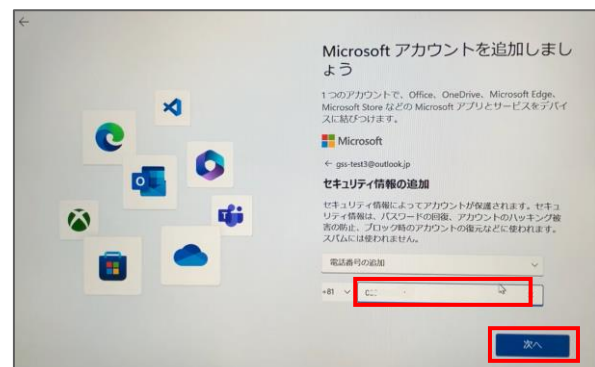
年の箇所のみ入力し、月と日はプルダウンをクリックし、選択します。

⑦



「セキュリティ情報の追加」と表示されたら、連絡が取れるメールアドレスか、電話番号(プルダウンで変更が可能)を入力します。
※本テキストでは電話番号の追加で進めます。

⑧



電話番号を入力し、【次へ】をクリックします。

【 Microsoftアカウントを追加中の注意】

Microsoftアカウントを追加中に、下記のような画面が表示される場合があります。

アカウントを追加するために必要な確認手順となりますので、表示された場合は、画面の指示に従って進めてください。
※下記は例です。

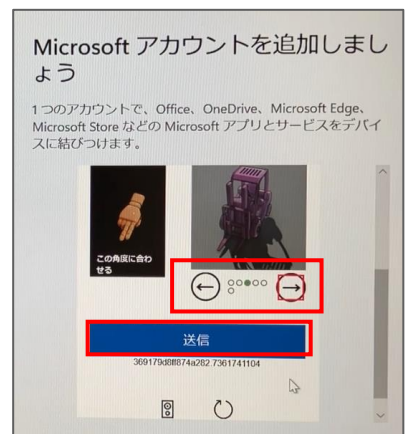
クイズによる確認（指示に従って画像を選択します）



下にスクロールします

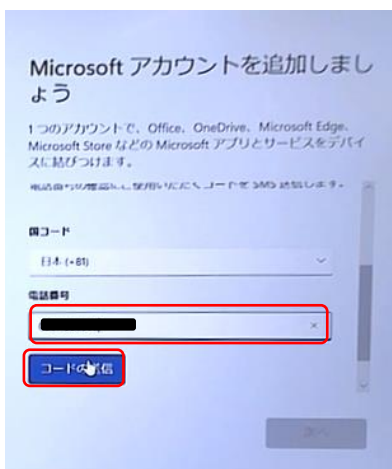


【次】をクリックします

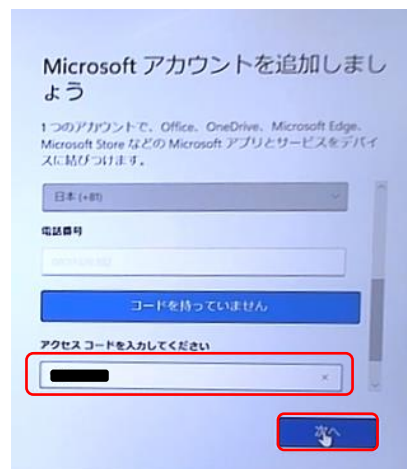


指示に従って操作・送信します
(画像はランダムにです)

コードによる確認（携帯電話に送信されたコードを入力します）



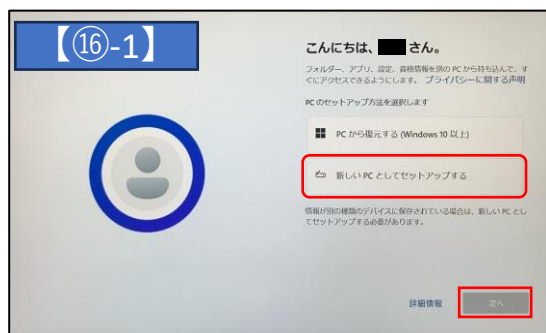
ショートメッセージが受信可能な携帯電話の番号を入力し、【コードの送信】をクリックします



携帯電話に送られてきたショートメッセージに記載されたアクセスコードを入力し、【次へ】をクリックします

【Windowsセットアップ手順】

【手順①⑥】はどちらかの画像が表示される場合があります。

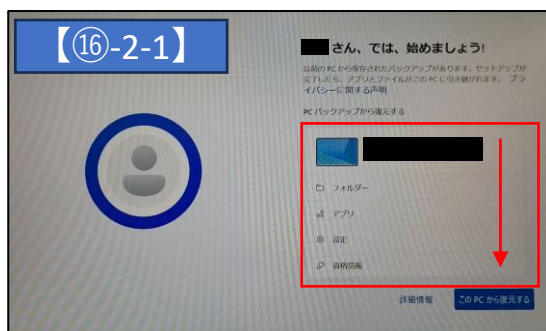


「こんにちは、〇〇さん。」と表示されたら、

【新しいPCとしてセットアップする】を選択し、【次へ】をクリックします。【手順②③】へ進みます。

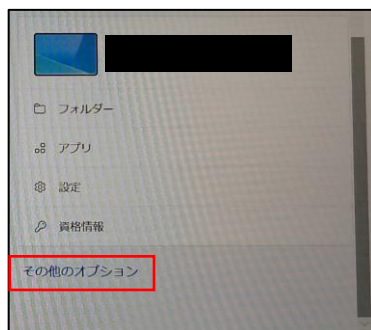
※表示されない場合は①⑦に進みます。

①⑥

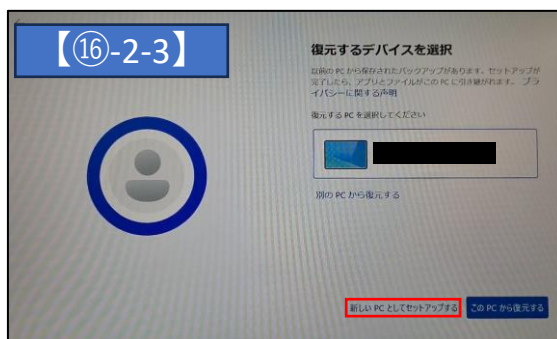


「〇〇さん、では、始めましょう！」が表示されたら、赤枠内を下にスクロールし、【その他のオプション】をクリックします。

【16-2-2】



※画面を上下にスクロール際の方法は『10ページ』を参照してください。

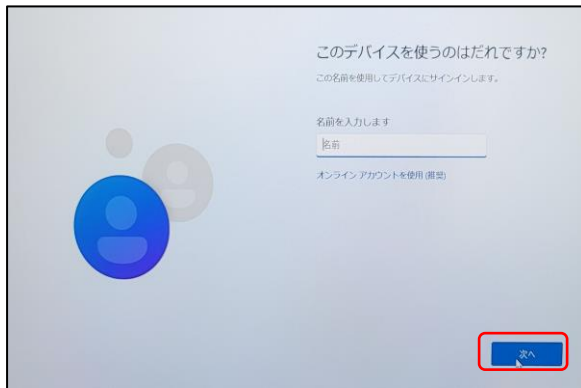


「復元するデバイスを選択」が表示されたら【新しいPCとしてセットアップする】をクリックします。

※表示されない場合は①⑦に進みます。

【Windowsセットアップ手順】

⑪

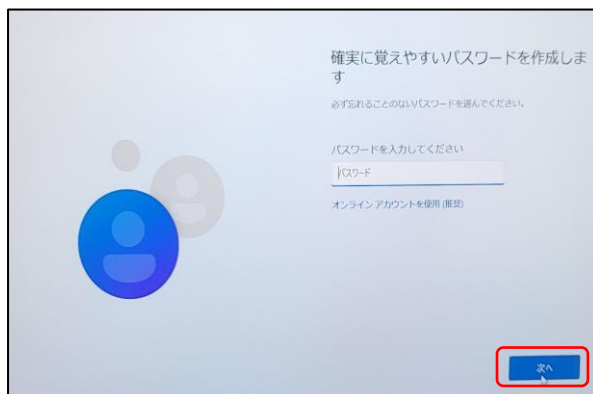


「このデバイスを使うのはだれですか？」と表示される場合があります。

※表示されない場合は⑬に進みます。

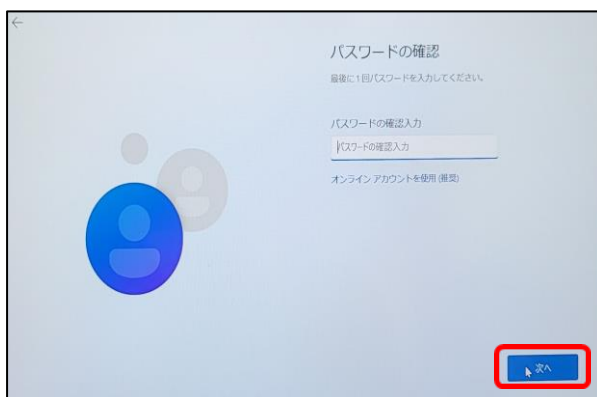
ご自身のお名前入力し、【次へ】をクリックします。

⑫



「確実に覚えやすいパスワードを作成します」と表示されたら、ご自身で解り易く、忘れないパスワード入力し、【次へ】をクリックします。

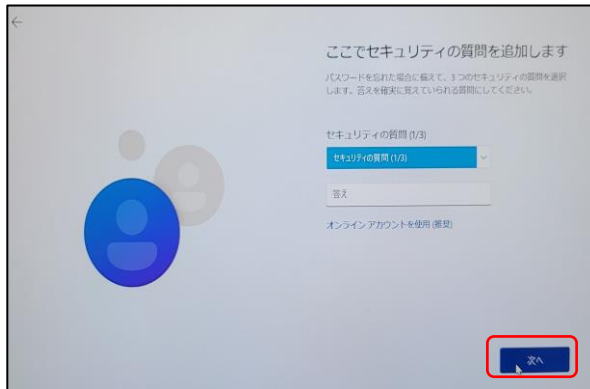
⑬



「パスワードの確認」と表示されたら、先程と同様のパスワードを入力し、【次へ】をクリックします。

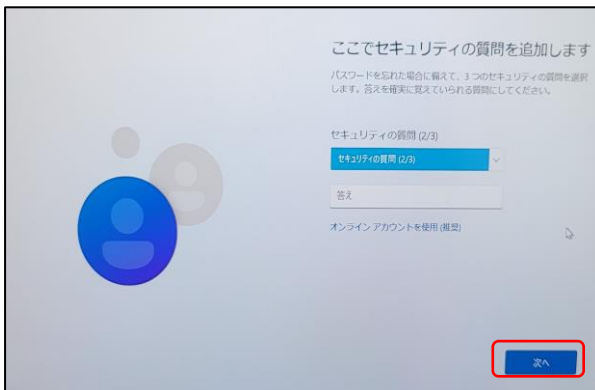
【Windowsセットアップ手順】

②0



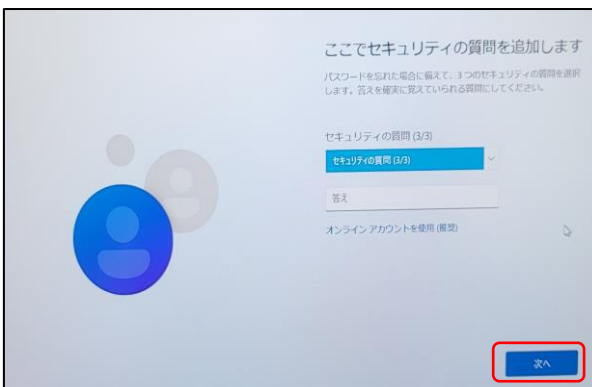
「ここでセキュリティの質問を追加します」と表示されたら、セキュリティの質問(1/3)をクリックし、6項目中から質問内容を覚えやすい問いを選んで、選んだ後に答えを入力して【次へ】をクリックします。

②1



セキュリティの質問(2/3)をクリックし、6項目中から質問内容を覚えやすい問いを選んで、選んだ後に答えを入力して【次へ】をクリックします。

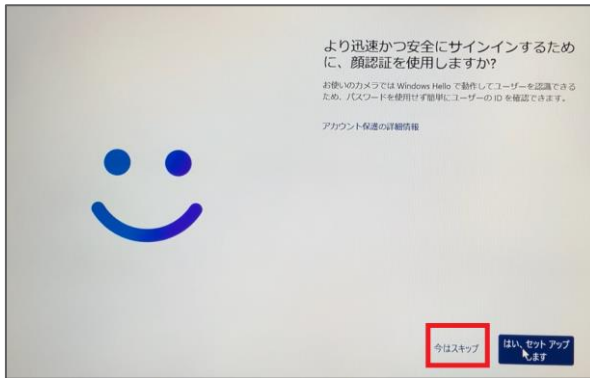
②2



セキュリティの質問(3/3)をクリックし、6項目中から質問内容を覚えやすい問いを選んで、選んだ後に答えを入力して【次へ】をクリックします。

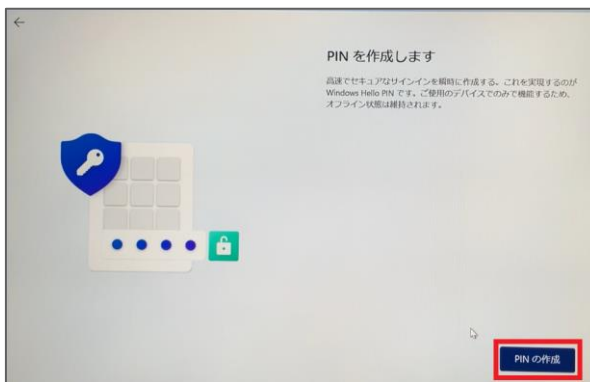
【Windowsセットアップ手順】

23



「より迅速かつ安全にサインインするために、顔認証を使用しますか？」と表示されたら、
【今はスキップ】をクリックします。

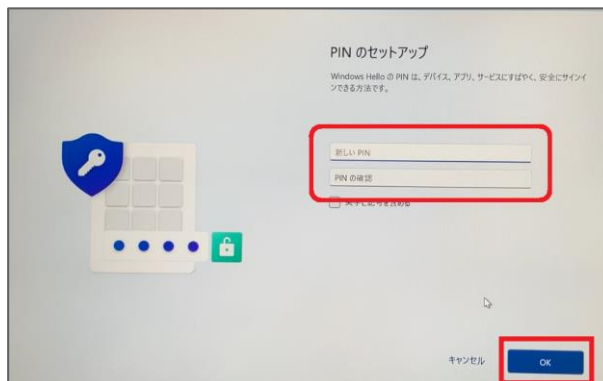
24



「PINを作成します」と表示されたら
【PINの作成】をクリックします。

※24～25は、18「確実に覚えやすいパスワードを作成します」でパスワードを設定した場合、表示されません。

25



「PINのセットアップ」と表示されますので、
4桁以上の数字を入力してください。

※入力したPINコードは忘れないようにしてください。

26



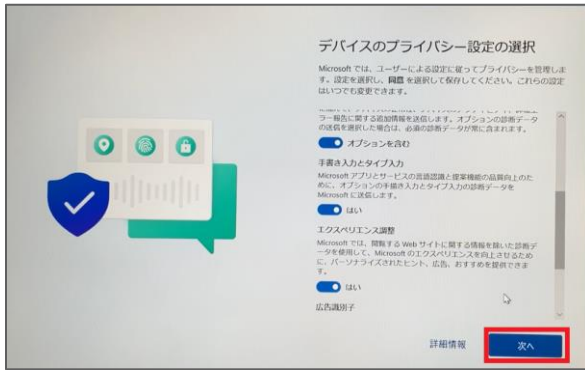
【デバイスのプライバシー設定の選択】

- ・位置情報
- ・デバイスの検索
- ・診断データ

右下の【次へ】をクリックします。

【Windowsセットアップ手順】

27



自動でページがスクロールされ次に

- ・手書き入力とタイプ入力
- ・エクスペリエンス調整
- ・広告識別子

右下の【次へ】をクリックします。

28



自動でページがスクロールされます。

一番下までスクロールが完了したら、右下の【同意】をクリックします。

29

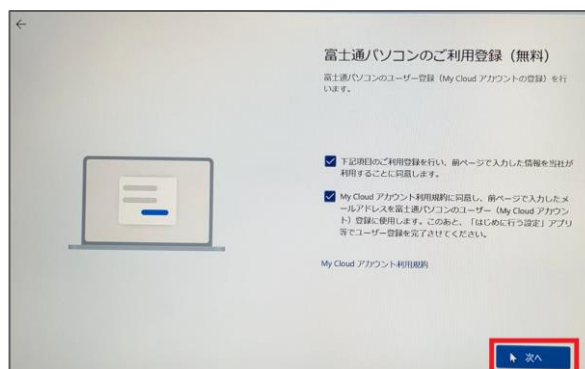


「富士通パソコンのご利用登録」と表示されましたら、Microsoftアカウントで設定している氏名、アドレス、電話番号等が表示されていることを確認し、

【次へ】をクリックします。

※表示されていない場合は入力します。

30



「富士通の利用規約」を確認後、【次へ】をクリックします。

【Windowsセットアップ手順】

31



「エクスペリエンスをカスタマイズしましょう」と表示されたら、**【スキップ】**をクリックします。

32



「PCから電話を使用する」と表示されたら**【スキップ】**をクリックします。

33



「常に最近の閲覧データにアクセスできます」と表示されたら**【今はしない】**をクリックします。

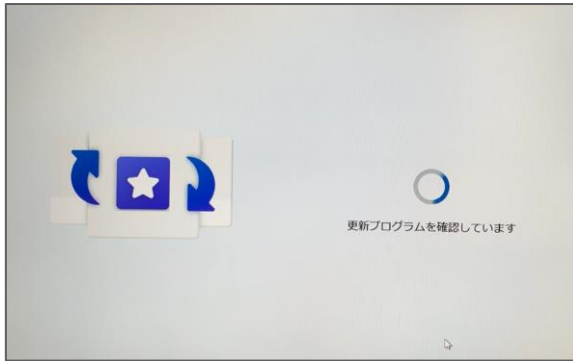
34



「PC Game Pass を初月¥850で利用できます」と表示されたら**【今はしない】**をクリックします。

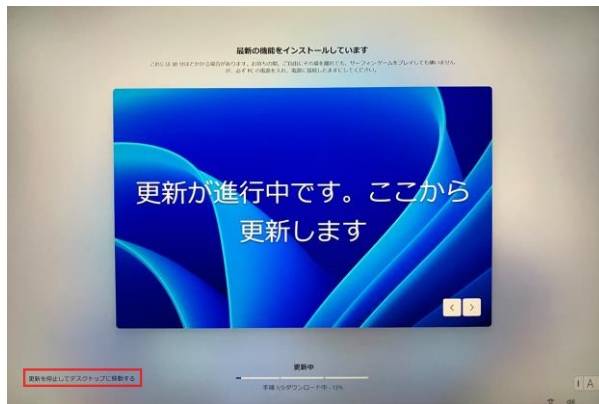
【Windowsセットアップ手順】

③⑤



「更新プログラムを確認しています」と表示されたら画面が切り替わるまで待ちます。

③⑥

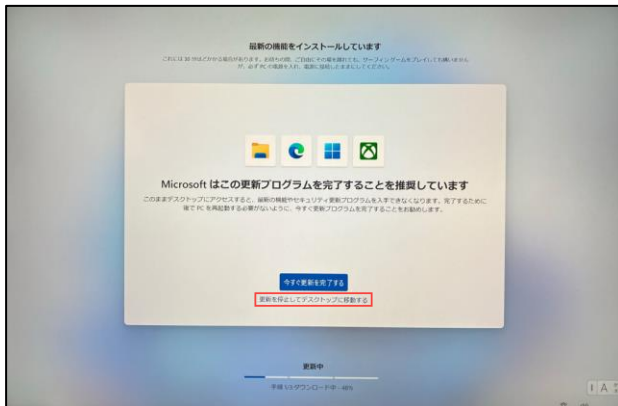


※Windowsのバージョンにより【最新の機能をインストールしています】という表示される場合がございます。

表示されない場合は手順【③⑨】に進んでください。

表示された場合には、Windowsの更新は後でも行えますので、左下にある【更新を停止してデスクトップに移動する】をクリックします。

③⑦



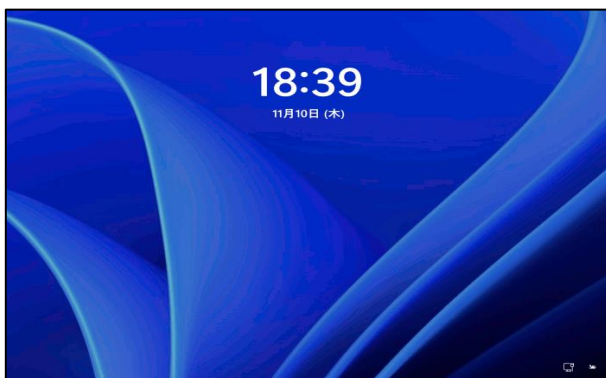
クリック後、画面が切り替わりますが、改めて画面中央下部にある【更新を停止してデスクトップに移動する】をクリックします。

※Windowsアップデートについては本テキストの【47ページ】をご確認ください。

その後、パソコンが再起動を始めます。

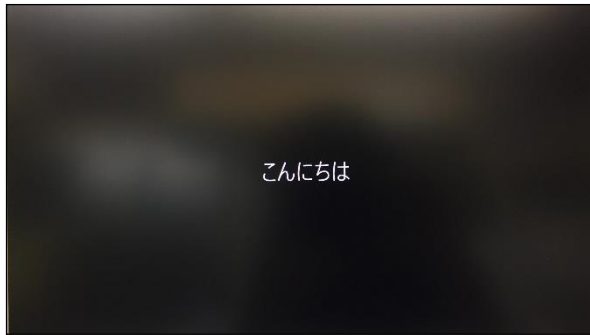
再起動後にWindowsの「ログイン画面」が表示されますので、初期設定の際に「ログイン パスワード」を設定されている場合は設定した【パスワード】を入力してください。

③⑧



【Windowsセットアップ手順】

39

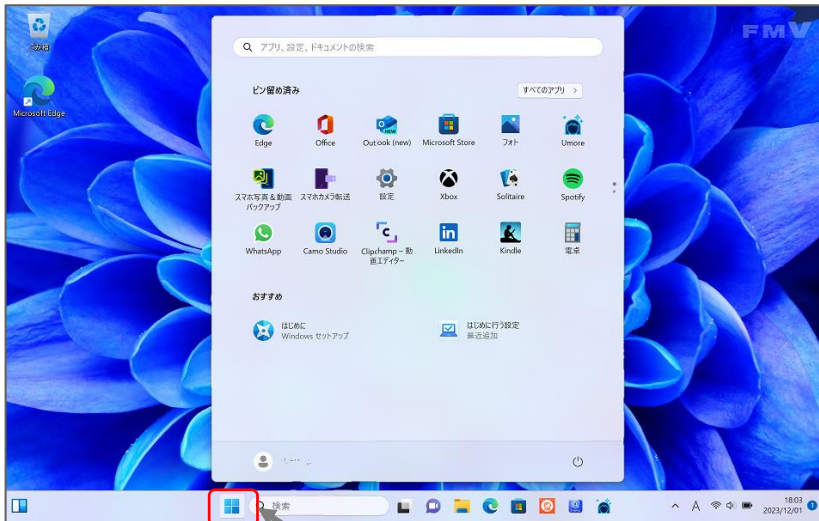


【こんにちは】

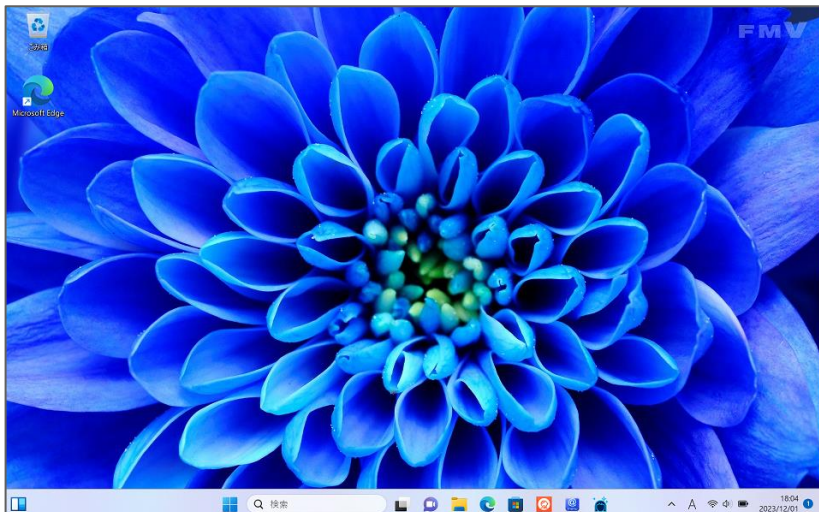
と表示されたら、初期セットアップの処理が始まりますので、しばらくお待ちください。

画面が切り替わりますが、初期セットアップの処理を行っているので、デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください

デスクトップ画面が表示されたら、OSのセットアップは終了です。



このアイコンをクリックすると中央のウィンドウが閉じます。



4.「デバイスの暗号化 (BitLockerの機能)」

本項では、掲記の機能をお使いになるうえで知っておいていただきたいことを記載しています。ご購入のパソコンをお使いになる前に本項をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願い致します。

◆ご利用時の重要なお知らせ◆
必ずお読みください。

～修理発生時のトラブルを回避します～

ご購入のパソコンはWindowsに搭載されている機能により、内蔵ストレージが暗号化されている状態で修理を行うとOSの起動ができなくなる可能性があります。これは、修理後にパソコンを起動するときに「回復キー」の入力を求められる場合があります、正しくキーを入力できないことで発生します。

一部製品では内蔵ストレージの暗号化が自動的に実行されるため、次の「デバイスの暗号化の自動実行に関する注意事項」に記載している手順を行い、暗号化が実行されている場合は「回復キー」をバックアップして紛失しないように保管して下さい。

※暗号化を【オフ】にした後に、再度【オン】すると[回復キー]が変更されますので、その場合は[回復キー]を改めてバックアップし直してください。

【回復キーの作成例】

BitLocker ドライブ暗号化の回復キー

これが適切な回復キーであることを確認するには、次の ID の先頭と、PC に表示されている ID 値とを比較してください。

ID:

上記の ID が PC に表示されている ID と一致する場合は、次のキーを使用してドライブのロックを解除します。

回復キー: 48桁のランダムな文字列(数字)

上記の ID が PC に表示されている ID と一致しない場合、ドライブのロックを解除するための適切なキーではありません。

別の回復キーを試してみるか、<https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=260589> で詳細を確認してください。

次のページより、

- ・暗号化状態の確認
- ・回復キーの作成方法

について説明します。

◆デバイス暗号化の自動実行について◆

■注意事項

ご購入のパソコンをMicrosoftアカウントまたは、Azure Active Directoryでご利用になった場合、Windowsに搭載されているBitLockerの機能である「デバイスの暗号化」により内蔵ストレージが自動的に暗号化される場合があります。

パソコンのセットアップ完了後、次の「**■暗号化状態の確認**」でパソコンの内蔵ストレージが暗号化されているか確認してください。

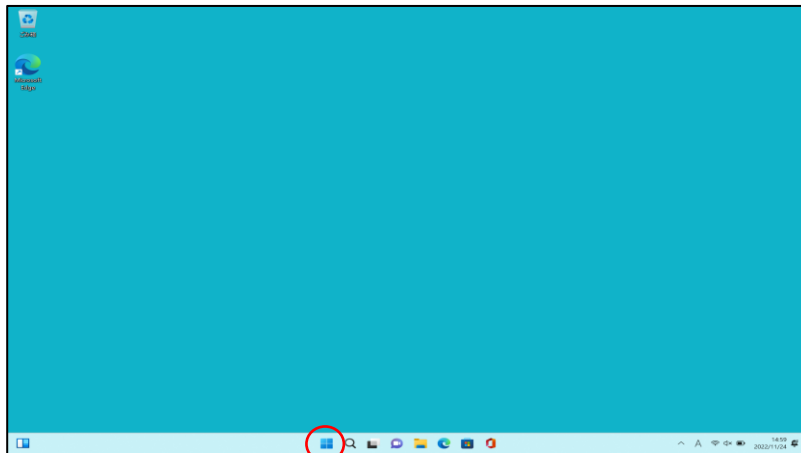
該当するお客様は「**■回復キーのバックアップ**」を行い、紛失しないよう保管して下さい。

■暗号化状態の確認

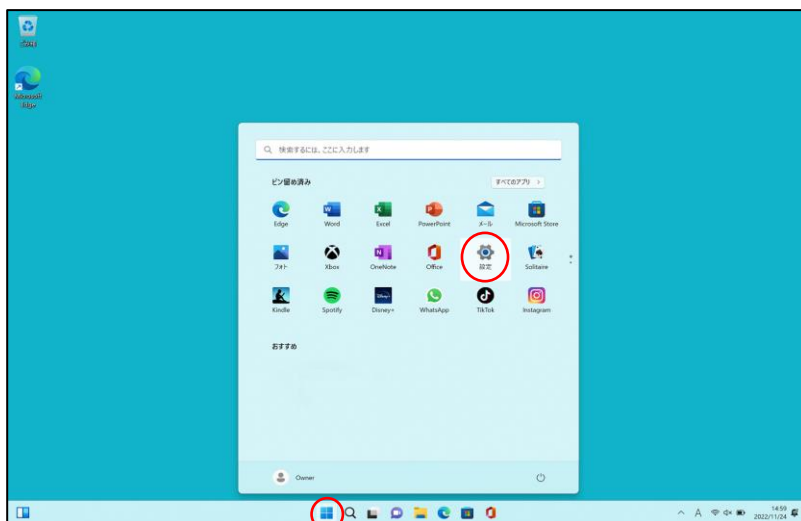
次の手順に従って、お使いのパソコンが暗号化されているか確認してください。

※MicrosoftアカウントやAzure Active Directoryのアカウントを利用していない場合は、自動的に暗号化されることはありません。

※画像は一例です。メーカー、モデルにより表示が異なる場合があります



①スタートボタン
をクリックします。



②設定
をクリックします。



次のページへ続く。

◆デバイス暗号化の自動実行について◆

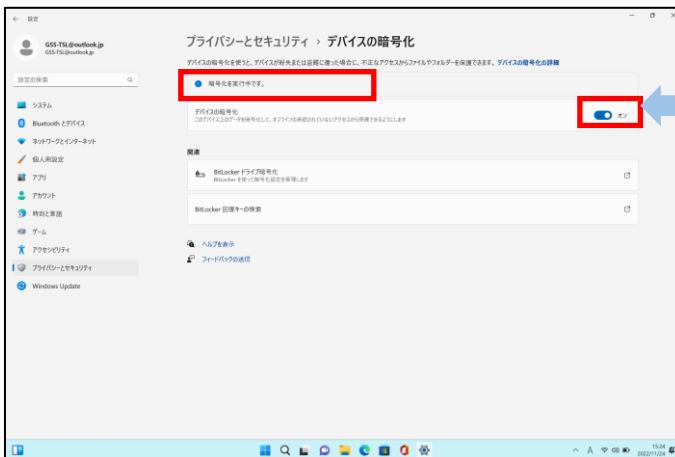
■暗号化状態の確認

次の手順に従って、お使いのパソコンが暗号化されているか確認してください。
※MicrosoftアカウントやAzure Active Directoryのアカウントを利用していない場合は、自動的に暗号化されることはありません。

※画像は一例です。メーカー、モデルにより表示が異なる場合があります



③「プライバシーとセキュリティ」をクリックし、「デバイスの暗号化」をクリックします。



④「デバイスの暗号化」がオンになっていることを確認します。

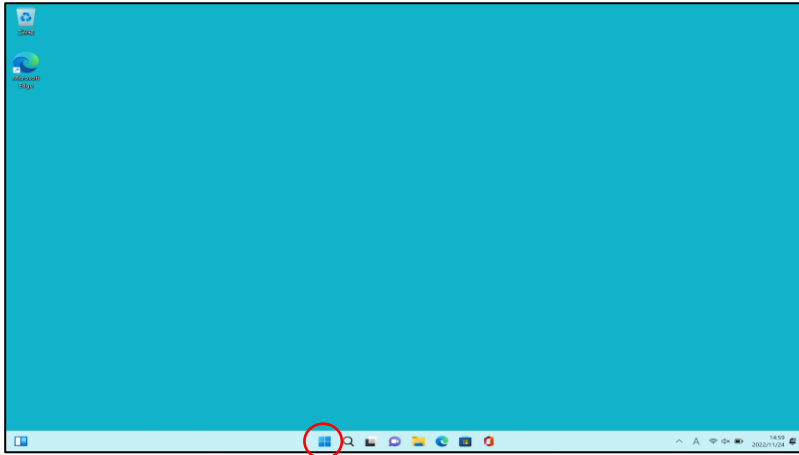
※暗号化の進行状態が途中の場合は「暗号化を実行中です」と表示されています。
バックグラウンドで作業が進んでおり、パソコンの状態によって時間がかかる場合がございます。

次の手順に進むには、
「デバイスの暗号化」と表示されて暗号化が完了していることが条件となります。

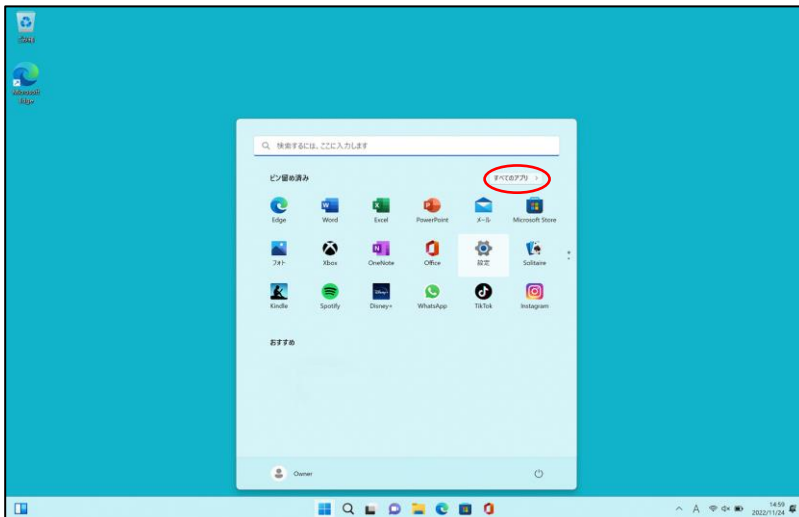
◆デバイス暗号化の自動実行について◆

■回復キーのバックアップ

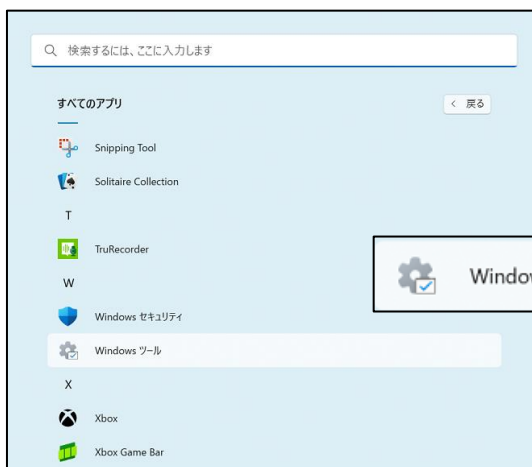
起動できなくなった場合に備え、必ず「回復キー」をバックアップして紛失しないよう保管して下さい。



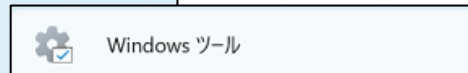
①スタートボタンをクリックします。



②「すべてのアプリ」をクリックします。



③一覧から「Windowsツール」を探し、クリックします。



次のページへ続く。

■回復キーのバックアップ(続き)

The screenshot shows the Windows 7 Start menu search interface. The search bar at the top contains the text "Windows ツール". Below the search bar, the results are displayed in a grid. The results include various system tools and applications, such as "iSCSI イニシエーター", "ODBC データ ソース (64 ビット)", "Windows Media Player Legacy", "Windows PowerShell", "Windows PowerShell ISE", "Windows メモリ診断", "イベント ビューアー", "コマンド プロンプト", and "コンポーネント サービス". The "コントロール パネル" (Control Panel) icon is highlighted with a red rectangle.

コントロール パネル

← → ▼ ↑

表示方法: カテゴリ

コンピュータの設定を調整します

システムとセキュリティ
ファイル履歴でファイルのバックアップ コピーを保存
バックアップと復元 (Windows 7)

ネットワークとインターネット
ネットワークの状態とタスクの表示

ハードウェアとサウンド
デバイスとプリンターの表示
デバイスの追加
共通で使うモビリティ設定の調整

プログラム
プログラムのアンインストール

ユーザー アカウント
アカウントの種類の変更

デスクトップのカスタマイズ

時計と地域
日付、時刻、数値形式の変更

コンピュータの簡単操作
設定の提案の表示
視覚ディスプレイの最適化

※右上の表示方法が「カテゴリ」になっていることを確認します。

※暗号化作業が途中の場合はアイコンが表示されません。
完了を待ってから確認をお願いいたします。

次のページへ続く。

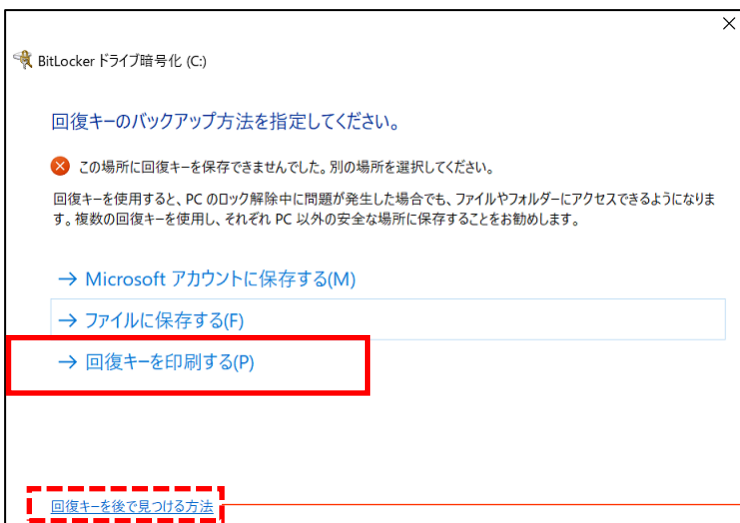
◆デバイス暗号化の自動実行について◆

■回復キーのバックアップ(続き)

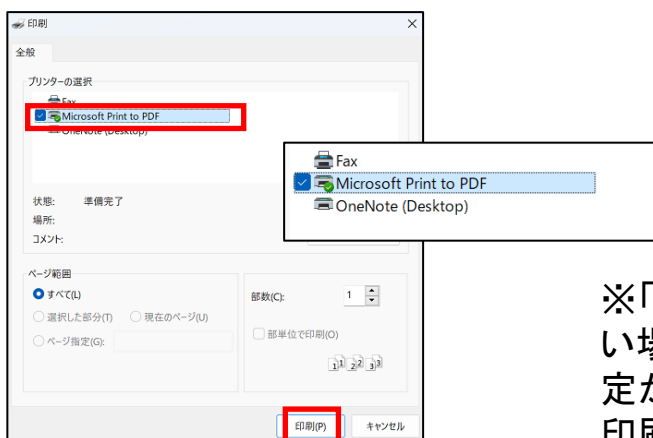
起動できなくなった場合に備え、必ず「回復キー」をバックアップして紛失しないよう保管して下さい。



⑦「回復キーのバックアップ」をクリックします。



⑧「回復キーを印刷する(P)」をクリックします。



⑨今回はPDFファイルを生成します。

「Microsoft Print to PDF」を選択し、「印刷」をクリックします。

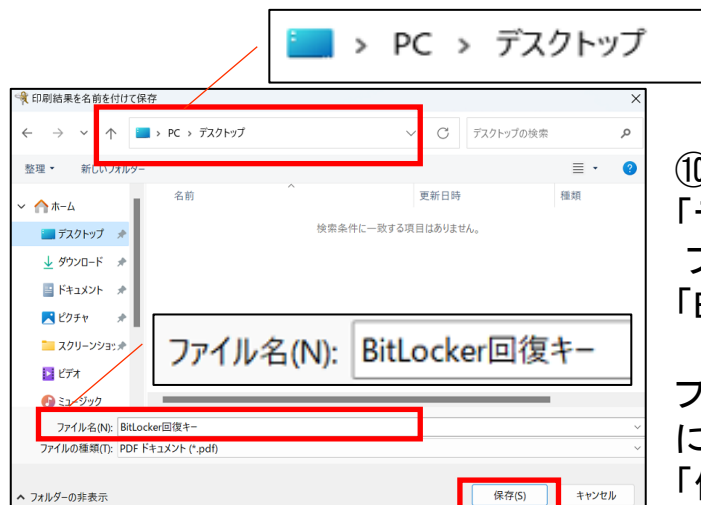
※「Microsoft Print to PDF」が見つからない場合は、今後接続予定のプリンタの設定が終わった後に本作業を行い、紙に印刷していただいても問題ありません。

次のページへ続く。

◆デバイス暗号化の自動実行について◆

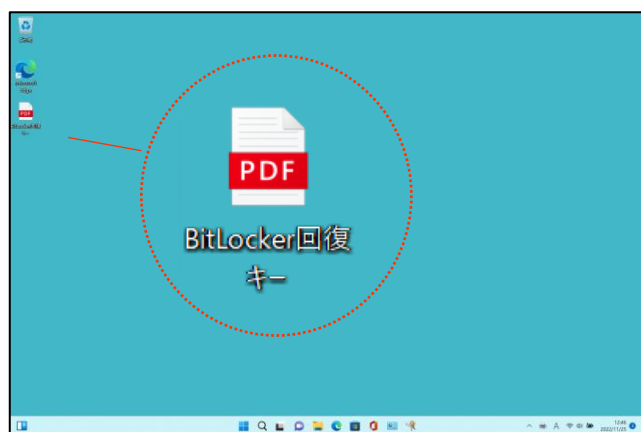
■回復キーのバックアップ(続き)

起動できなくなった場合に備え、必ず「回復キー」をバックアップして紛失しないよう保管して下さい。



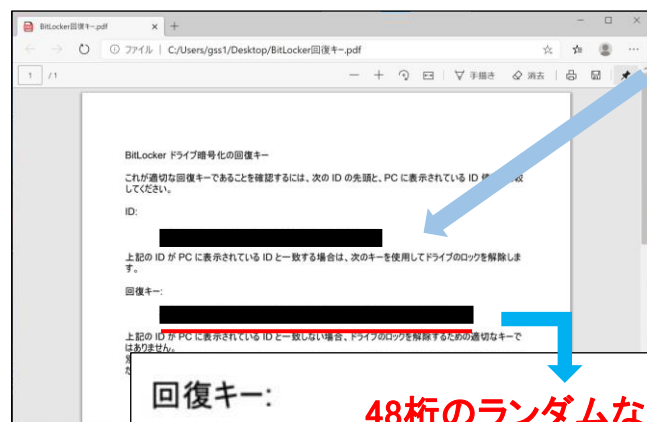
⑩今回ファイルの保存場所は、「デスクトップ」
ファイル名は、「BitLocker回復キー」とします。

ファイルの保存場所を「デスクトップ」に変更し、ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。



⑪PDFファイルが完成していることを確認します。

今回の保存場所、ファイル名はあくまで参考ですので、ご自身で任意の場所、任意のファイル名で保存していただいて問題ありません。



⑫回復キーを確認し、メモを取ります。

※ID:の方をメモしないよう注意してください。IDを入力しても起動しません。

※PDFが表示される前にEdgeのご案内が出た場合には指示に従って進めてください。

回復キー:

48桁のランダムな文字列(数字)

※回復キーの「-」は入力する必要はありません。

aaaaaa - bbbbbb - cccccc - dddddd - eeeeeee - fffffff - gggggg - hhhhhh

次のページへ続く。

◆デバイス暗号化の自動実行について◆

■回復キーのバックアップ(続き)

起動できなくなった場合に備え、必ず「回復キー」をバックアップして紛失しないよう保管して下さい。

【回復キーメモ欄 合計48桁の文列】

—	—	—
—	—	—

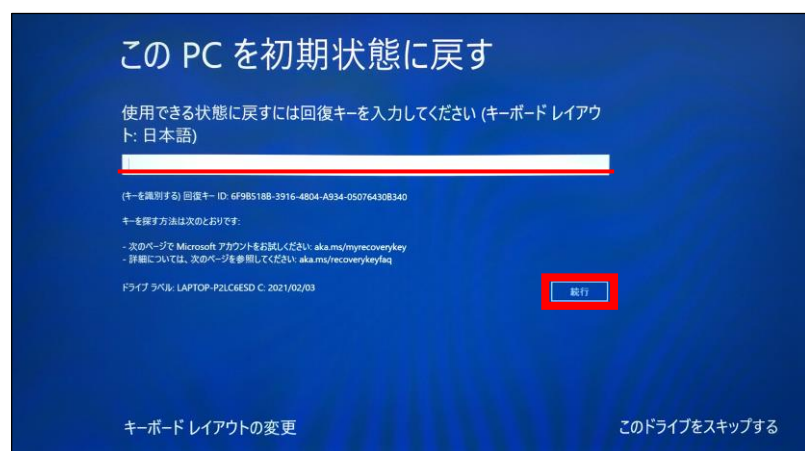
※暗号化を【オフ】にした後に、再度【オン】すると[回復キー]が変更されますので、その場合は[回復キー]を改めてバックアップし直してください。



Microsoftでログインしている場合、回復キーはMicrosoftアカウントにも保存されています。
以下のURLよりご確認が可能です。

<https://account.microsoft.com/devices/recoverykey>

パソコンを初期化したり、修理などを行ってパソコンのハードウェア情報が変わった場合、パソコン起動時に「回復キー」の入力を求められることがあります。



※左の画面はPC初期化手順でのBitLocker回復キー入力画面です。

この場合、回復キー入力欄に48桁の回復キーを入力し、続行ボタンをクリックすれば初期化がスタートします。

パソコンを初期化したり、修理などを行ってパソコンのハードウェア情報が変わった場合、パソコン起動時に「回復キー」の入力を求められることがあります。

必ず「回復キー」をバックアップし、紛失しないよう保管して下さい。

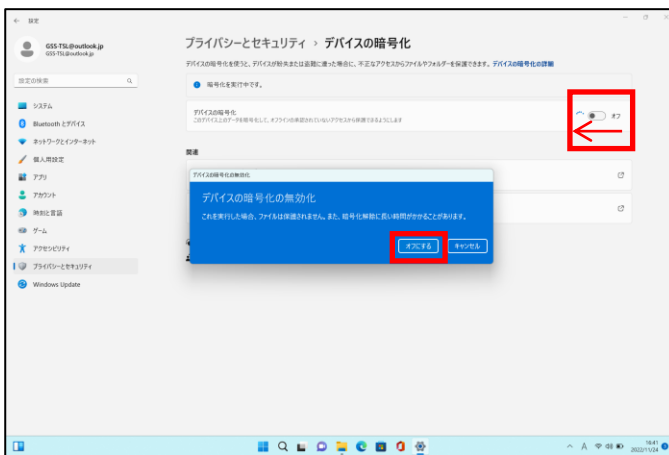
◆デバイス暗号化の自動実行について◆

■暗号化「有効」から「無効」への設定手順

本ページでは、暗号化を有効から無効(解除)にする手順をご案内しています。

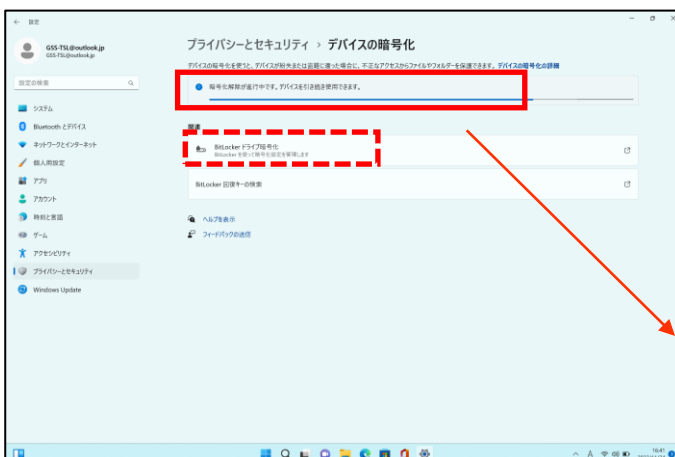
注意: 暗号化はデータを保護する機能のため、有効のままご使用頂くことを推奨します。無効にされますと、パソコンを紛失した際に情報漏洩などのリスクが生じますので、無効化する場合は自己責任でお願いします。

※暗号化を【オフ】にした後に、再度【オン】すると[回復キー]が変更されますので、その場合は[回復キー]を改めてバックアップし直してください。



①「デバイスの暗号化」のスイッチを「オン」から「オフ」に変更します。

「デバイスの暗号化の無効化」が表示されますので、「オフにする」をクリックします。



②「暗号化解除が進行中です・・・」と表示されます。

※この状態のままでもパソコンはお使いになれます。

しばらくすると、「デバイスの暗号化」の表示に変わります。

5.Windows11の主な操作方法について [1]

注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

【デスクトップ画面とスタートボタン】

起動後、ログイン画面でパスワードを入力しサインインすると、右のようなデスクトップ画面になります。(起動時にロック画面が表示されログイン画面にならないときは画面を一度クリックしてください。)

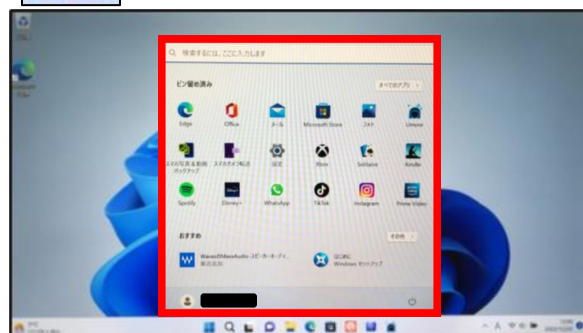
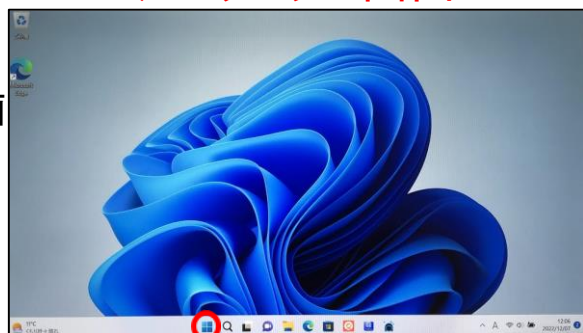
デスクトップ画面で下のスタートボタンをクリックするとスタート画面を表示します。

このスタート画面で起動したいアプリを選びクリックして実行します。

スタート画面上部にはピン留め済みのアプリのアイコンが表示されます。右側にある丸をクリックする事で表示ページを切り替えることができます。

スタート画面下部には[おすすめ]は直近でよく使用されているアプリが表示されます。
次ページから詳細を説明します。

デスクトップ画面



スタート画面

【インターネットブラウザ「Edge」(エッジ)について】

Windows 11 ではインターネットを見るアプリ(ブラウザ)はEdgeを使います。(従来のWindowsのブラウザは「インターネットエクスプローラ(IE)」でした。)インターネット接続環境が整ったらEdgeを使ってインターネットを利用してください。 ※43ページ、47ページにもEdgeの説明があります。

Edgeのアイコン



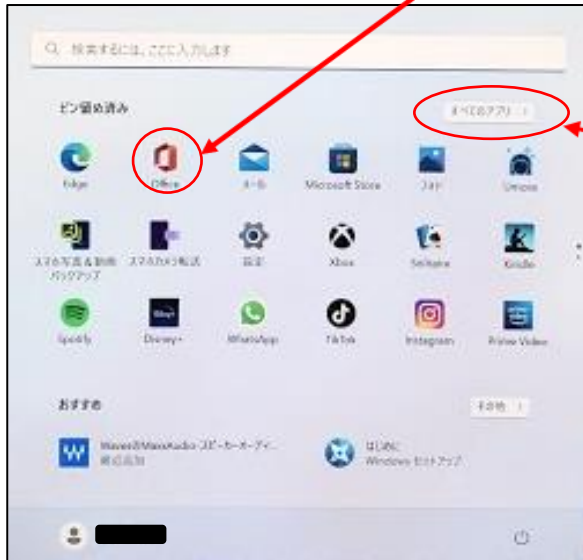
設定したパスワードを忘れた場合、パソコンが使えなくなり、パソコンの初期化(OSリカバリ)が必要になります。
※パスワードは、変更することも可能です。(38ページ)

Windows11の主な操作方法について [2]

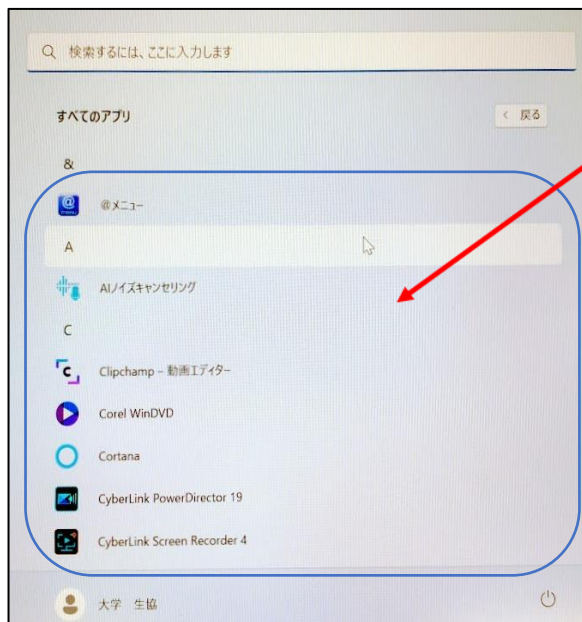
注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

【スタート画面基本操作方法】

スタート画面を表示して、
そこに表示されているアイコンをクリックするとアプリが起動します。

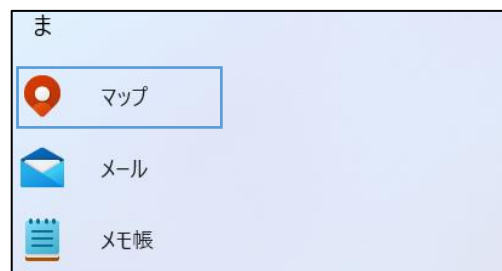


スタート画面の上部にある
すべてのアプリをクリックすると、インストールされているアプリの一覧が表示されます



一覧の続きを見る場合は一覧表示画面(左図の青色四角の範囲内)にマウスカーソルを合わせ、画面をスクロールします。(9ページ、指2本のスクロール方法参照)

目的のアプリが見つかったら、アイコンをクリックして起動します。



Windows11の主な操作方法について [3]

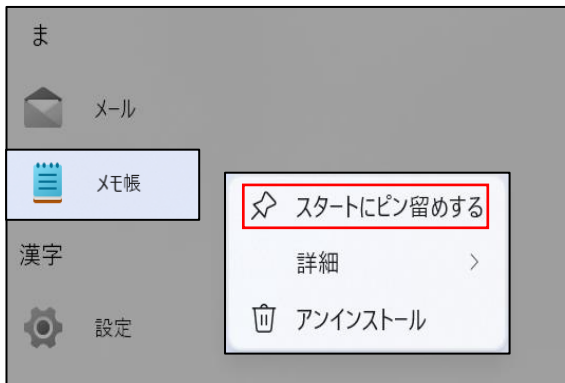
注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

【スタートメニューのカスタマイズ】

スタート画面上部の[ピン留め済み]によく使うアプリを追加することができます。

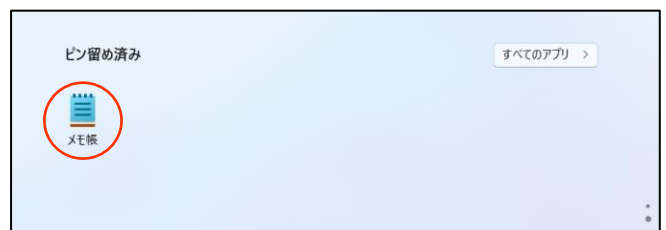
～ 例、アプリ「メモ帳」をピン留めします。 ～

※アプリ「メモ帳」は、
[すべてのアプリ]内の[ま行]にあります。



一覧画面で目的のアプリ、
ここでは「メモ帳」を探し、右
クリックします。

表示されたメニューの「ス
タートにピン留めする」をク
リックします。



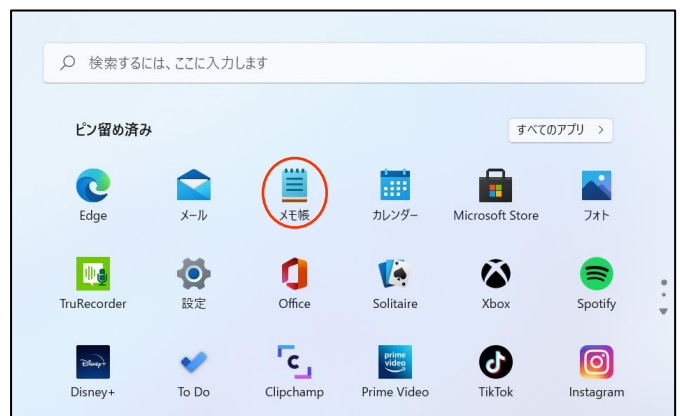
追加されました。

・位置の変更

アイコンをドラッグ(9ページ参
照)してみてください、位置が変
更できます。

・削除(【すべてのアプリ】の項目 からは削除されません)

アイコンを右クリックします。表
示されたメニューで「スタートか
らピン留めを外す」をクリックしま
す。



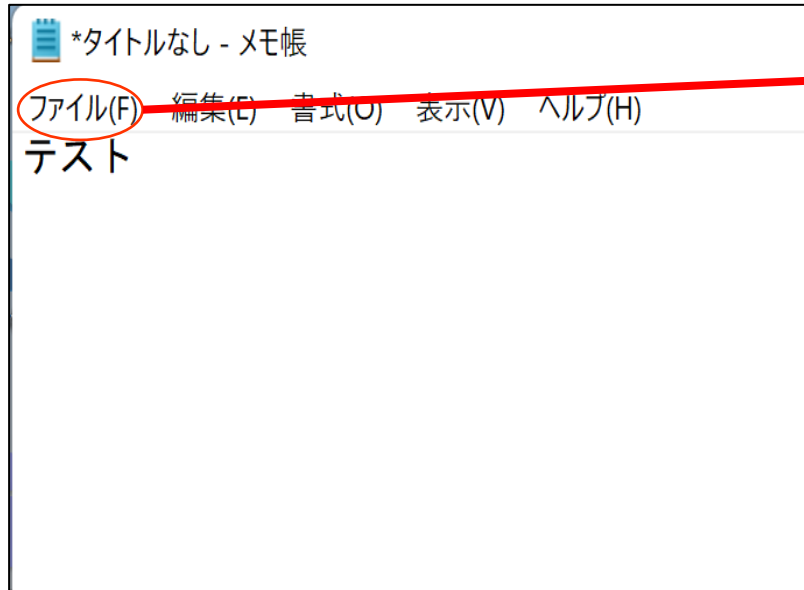
メモ帳を2ページ目から
1ページ目の方に移動しました。

Windows11の主な操作方法について [4]

注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

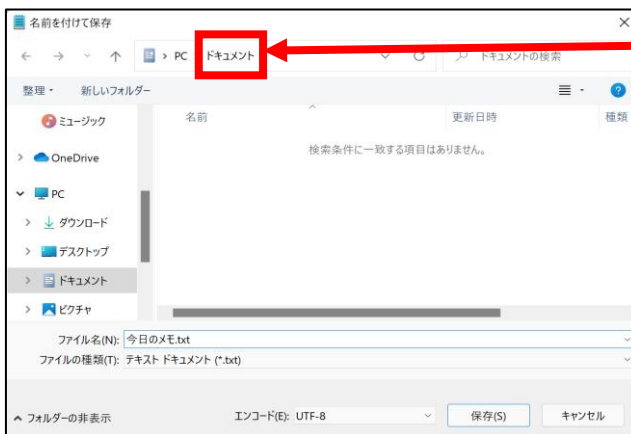
【アプリで作成したファイルの保存と終了】

～アプリ保存の例、メモ帳の場合～



「ファイル(F)」をクリックすると
上から4つ目に
「名前を付けて保存(A)...」が
あるので、クリックすると
左下のような画像が出てきます。

終了時、変更や新しく作ったファイルを保存する場合は「名前をつけて保存」画面になりますがその際、ファイルをどこに保存したかは、下図を参考に意識して覚えておいてください。



ここに注目。ここでは
「ドキュメント」に
保存しています。

後日、保存したファイル
を探すときは
「ドキュメント」の中を
探します。

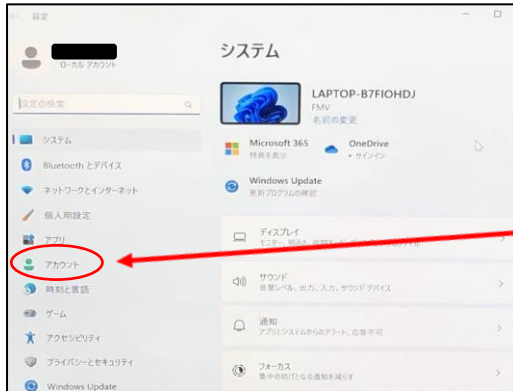
Windowsアプリの終了は画面の右上の×をクリックします。

～アプリの終了～



画面右上の×をクリックします

ログインパスワードの変更(設定)方法



スタートボタン  をクリックし、
[ピン留め済み]、[すべてのアプリ]の中から
設定をクリックします。 
設定画面になりますので
その中の「アカウント」をクリックします。



{Microsoftアカウントとの関連付け}

[アカウント]内の[ユーザーの情報]
インターネットにつなぎ、「マイクロソフトアカウント
に関連付けする」を実行すると、
マイクロソフトアカウントが必要なアプリ(OneDrive
など)が使用できるようになります。
必要な場合は、セットアップ完了後設定して下さい。

「サインインオプション」をクリックします。



「パスワード」のアイコンをクリックし、表示された「変更」をクリックします。

※「パスワード」が表示されてない場合は、
追加設定の「セキュリティ向上のため、このデバイスでは
Microsoftアカウント用にWindows Helloサインインのみを
許可する(推奨)」をオフにして、再度サインインオプション
を開きなおします。

次のページへ続く

ログインパスワードの変更(設定)方法

「変更」の場合は次の画面で現在のパスワードを入力します

①初期設定時に入力したパスワード入力し、「次へ」をクリックします。

※ログインがMicrosoftアカウントと連動されている場合は、Microsoftアカウントのパスワードを変更する手順となります。

②今後使用する新しいパスワード

③もう一度、新しいパスワードの入力

④パスワードのヒントを入力して「次へ」をクリックします。

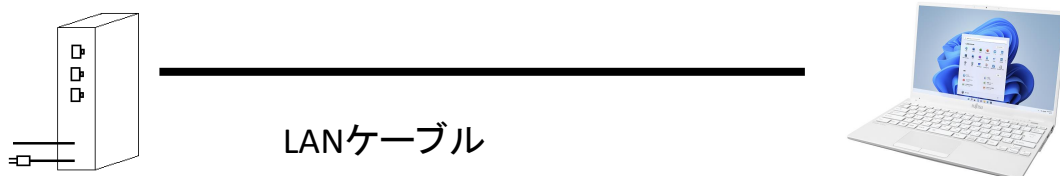
新しいPass _____.

⑤「完了」をクリックして終了です。

無線LAN接続について－1

「無線LAN」(ムセンラン)や「Wi-Fi」(ワイファイ)という機能をご存知でしょうか？パソコンでインターネットを行う時に、前ページの様なLANケーブルを使わずに無線電波で接続する機能です。無線LANには「無線LAN親機」と「無線LAN子機」が必要ですが、現在ほとんどのノートパソコンには(もちろん本機種にも)その子機の機能が内蔵されています。

LANケーブルでのインターネット接続



無線LANによるインターネット接続



無線LANを自宅で実施したい場合は、別途、無線LAN親機の購入が必要です。プロバイダからレンタルすることもできます。接続希望の場合はプロバイダにお問い合わせください。

※無線LANは無線電波を使用するため自宅に設置しても、隣近所に電波が飛んでいます。そのため、他人に使われないように無線LAN接続は一般にパスワードを設定しています。パスワードは「アクセスキー」「接続キー」「暗号キー」などメーカー毎に呼び方が違います。
※無線LAN親機には「SSID」(親機の名前)が設定されています。
※SSIDとパスワードがわかれば無線LANは簡単につながります。



※Wi-Fiの設定を開始するときは  のマークをクリックして設定を開始して下さい。

41ページへ進みます。

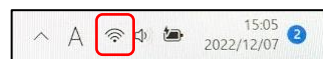
無線LAN接続について－2

インターネット(Wi-Fi)接続方法

- ①画面右下の日付、アイコンが表示されている部分  マークをクリックすると現在接続できるアクセスポイントが一覧で表示されるので、接続したいアクセスポイントをクリックします。すると、図のように「接続」ボタンが出るので、クリックします。※自動的に接続のチェックを入れておくことで、次回以降パスワードの入力手順を省くことができます。
- ②ネットワーク セキュリティ キー(パスワード)を入力します。
- ③入力が出来たら「次へ」ボタンをクリックします。
- ④「このネットワーク上の他のPCやデバイスが、このPCを…」と表示される場合があります、その場合は「いいえ」をクリックします。
- ⑤「検証し接続しています」と表示されるので、しばらくお待ちください。
- ⑥接続が完了したら、図のように  マークが  マークに変わります。

⑥

※  マークになっていればインターネット接続完了です。



その他のインターネットの接続方法

インターネット接続はさまざまな方法があるため、詳細は契約した接続業者（インターネットサービスプロバイダ）のコールセンターにお尋ねください。

また、4ページに記載の「大学生協無料パソコン電話サポート」もご活用ください。

ただ、最近はインターネット用の「LANケーブル」を接続するだけで、設定等必要なしで接続できるケースが多いので、ここではその例を記載します



用意するもの：LAN（ラン）ケーブル

家電販売店や大学生協に売っています。

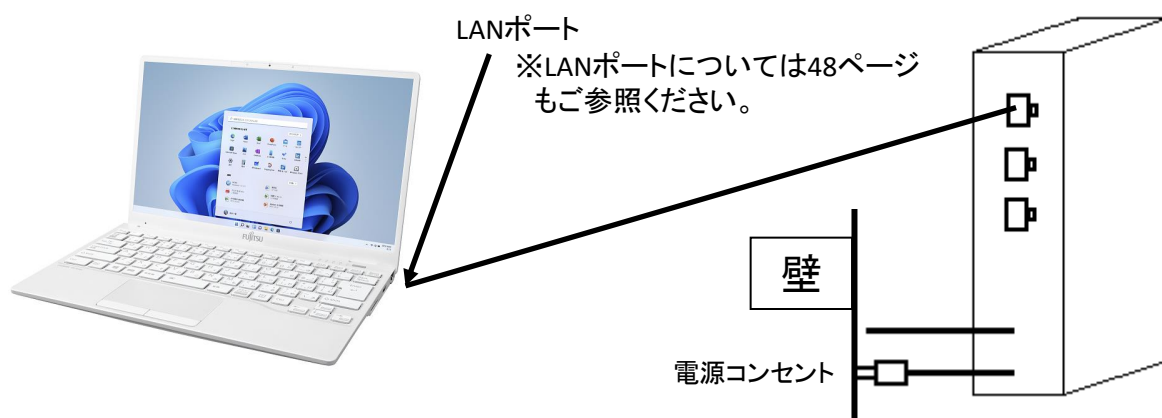
1m、3m、5m、10mなど様々な長さのものがあります。

必要な長さのものを1本用意してください。

接続

プロバイダと契約し工事が終わると、モデム（またはモデムルーター）という機械を設置してくれています。そのモデムの説明書に従い、モデムの電源を入れてください。

パソコンのLANポートとモデムのLANポートをLANケーブルでつなぎます。モデムのLANポートは機種により複数ある場合、1つの場合もあります。



パソコンの電源を入れブラウザを起動し、インターネットにつながることを確認してみてください。この時「このネットワーク上の他のPCやデバイスが、このPCを検出できるようにしますか？」と表示された場合は「いいえ」をクリックしてください。

※以上でつながらない場合は設定の必要なケースです。プロバイダや大学生協電話サポートに接続方法をお尋ねください。

Microsoft Edgeについて

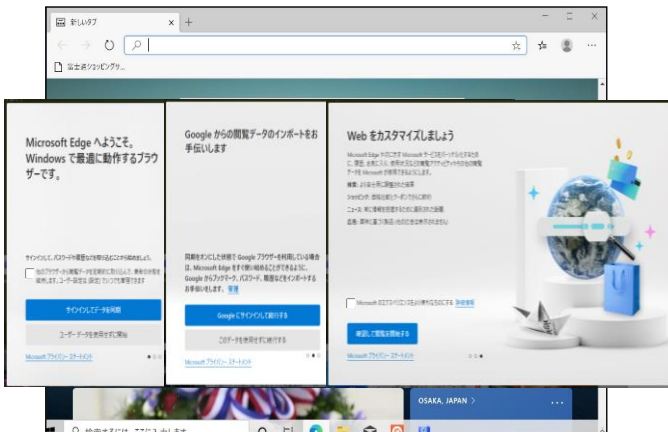
Windows11 でインターネットを見るときはEdge(エッジ)を使用します。



①ここではインターネット接続ができていることの確認の意味も込めてマイクロソフトエッジを起動します。

スタート画面やデスクトップ画面にあるEdgeのアイコンをクリックします

Edgeのアイコン

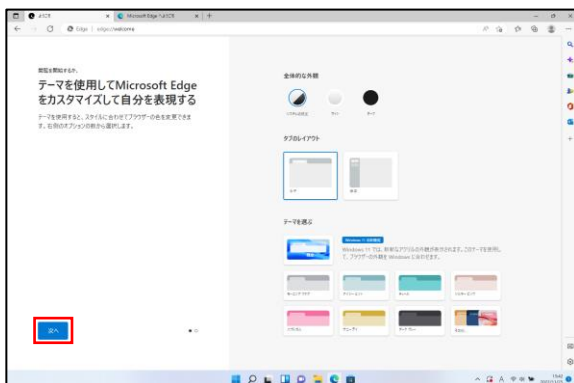


※初回起動時は

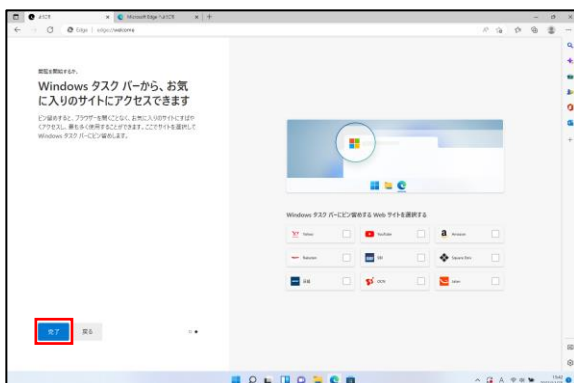
- ・[Microsoft Edgeへようこそ。Windowsで最適に動作するブラウザです。]は「ユーザーデータを使用せずに開始」をクリック
- ・Microsoftアカウントでログインしている場合には「確認して続ける」をクリック

・[Googleからの閲覧データのインポートをお手伝いします]は【このデータを使用せずに続行する】をクリック

・[Webをカスタマイズしましょう]は【確認して閲覧を開始する】をクリック



・「テーマを使用してMicrosoft Edgeをカスタマイズして自分を表現する」は、任意で右側にあるテーマを選択し、左下の【次へ】をクリック



・「Windows タスクバーから、お気に入りのサイトにアクセスできます。」は、ご利用されるサイトに任意でチェックを入れ、左下の【完了】をクリックします。

＜次のページへ続きます。＞

Microsoft Edgeについて

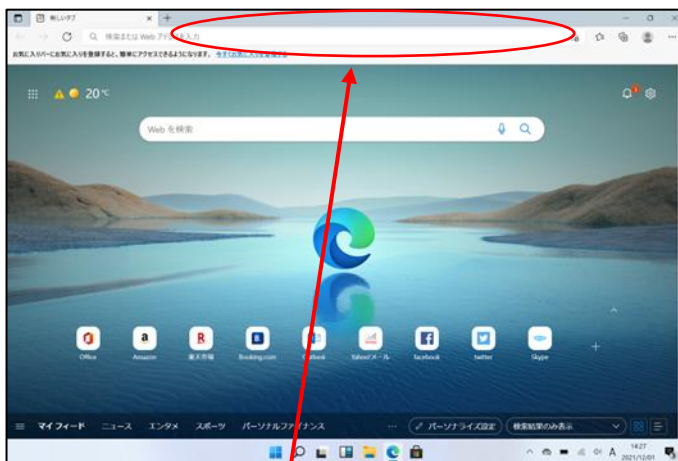
Windows11 でインターネットを見るときはEdge(エッジ)を使用します。



Edgeのアイコン

①ここではインターネット接続ができて
いることの確認の意味も込めて
マイクロソフトエッジを起動します。

スタート画面やデスクトップ画面
にあるEdgeのアイコンをクリック
します



アドレスの領域

マイクロソフトエッジが起動します
左の画面は一例です。パソコンや設定
により初期画面は異なります。)

②見たいホームページアドレスを
入力します。

アドレスの領域に見たいアドレス
を入力し、Enter を押します。

たとえば、Googleなら `www.google.co.jp` と入力し、Enter を押します。



ヒント 表示されている文字を
Backspaceキー等で削除し、空白にして
から新たにアドレスを打ち込みます。

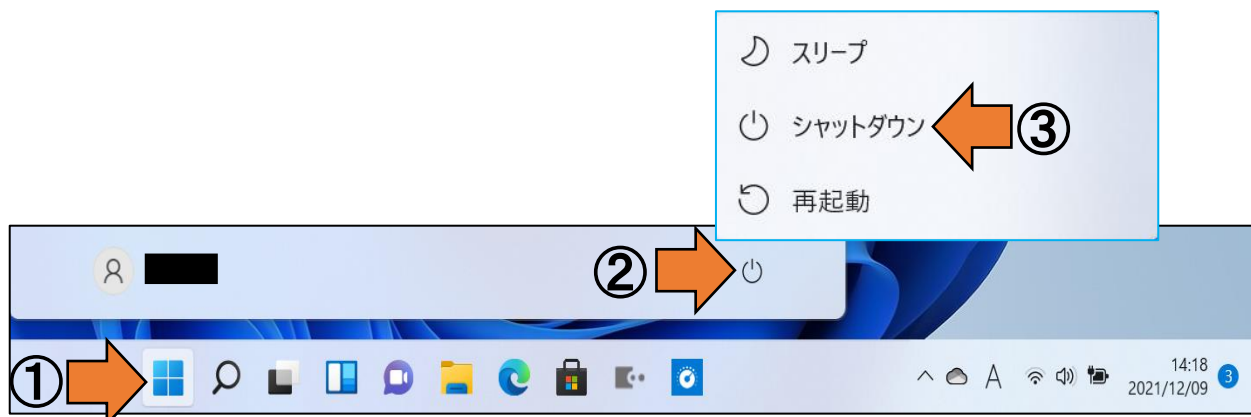


一般にホームページアドレスの`http://`は入力時省略できます。
`http://www.google.co.jp` → `www.google.co.jp`

47ページも
ご参照ください。

【シャットダウンの方法】

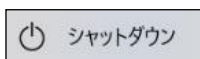
Windows11の終了方法はいくつかありますが、最も基本の方法をご紹介します。



①「スタートボタン」をクリックします。



②「電源ボタン」をクリックします。



③「シャットダウン」をクリックします。

※更新プログラムがある場合、
「更新してシャットダウン」と表示されている場合もあります。
この場合、シャットダウンすると、Windows Updateが開始されます。
45ページ、46ページもご参照ください。

※その後、実際に電源が切れるまで数十秒かかる場合があります。
電源ランプが消えるのを確認してからパソコンの蓋を閉じて下さい。

※上記の方法が基本ですが、スタートボタンの右クリックや
設定により電源ボタンの操作でも電源が切れるように出来ます。

以上でセットアップは完了です。

お疲れさまでした。

次ページからは、
よりパソコンを快適にご利用いただくための
ソフトウェアの紹介や設定方法をご用意いたしました。

6. Windows Update ※よくお読みください

セキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです。Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、ウイルスに感染してしまう可能性があります。

Windows11の不具合やセキュリティ上の問題が発見された場合、修正する更新プログラムがインターネット上に公開されます。

この更新プログラムをダウンロードし、Windowsを最新状態に保つのがWindows Updateです。Windows Updateはインターネットにつなぐことにより自動で行われます。

パソコンを購入した際には、メーカーの生産からお手元に届くまでの間に修正プログラムがたまっている為、必ずWindowsUpdateを行って最新の状態にする必要があります。



Windows Updateはインターネットに接続することにより自動で行われます。言い換えれば、ネットにつながないとUpdateは行われず、最新の状態に保てません。普段ネットにつながない方も定期的につなぐように心がけてください。アップデートは、電源ケーブルを接続した状態で行ってください。

Windows Updateとは？

Windows Updateとはインターネットを通じてWindowsやOffice製品（WordやExcelなど）の発売後に見つかった問題を修正したり、新しい機能を追加する作業のことです。

他にもウイルスが忍び込むセキュリティホール（セキュリティの欠陥）をなくし、悪質な攻撃に負けないように、強化することもWindows Updateでは行われます。

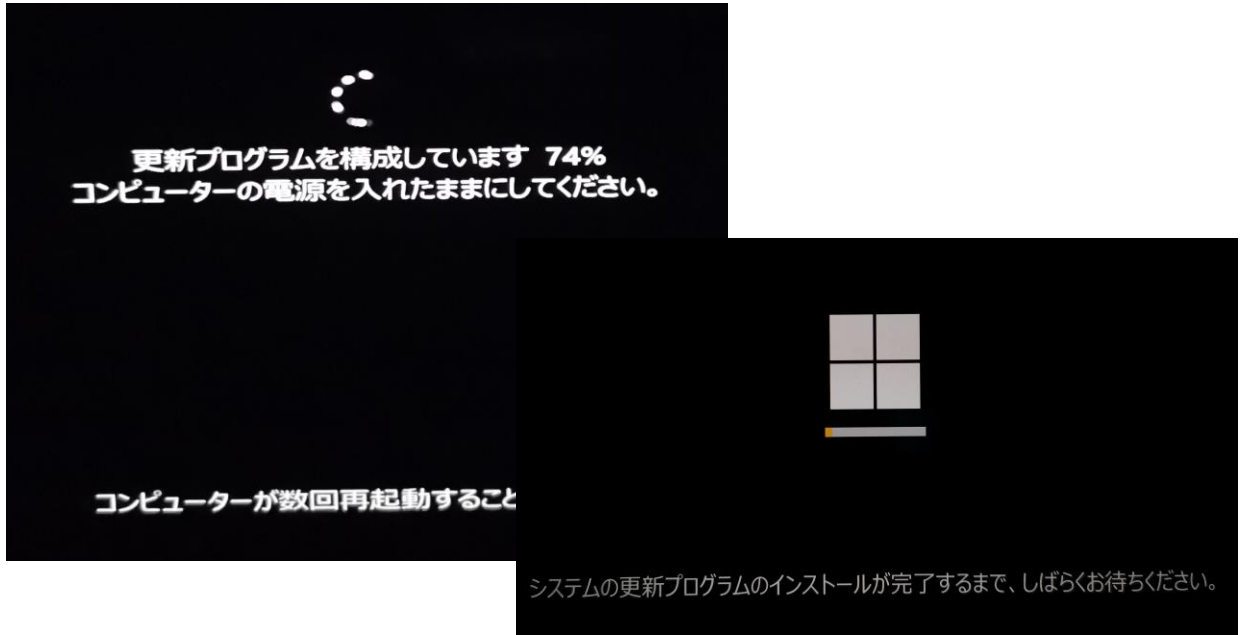
通常はWindows Updateの自動更新が有効になっているので、定期的に更新されるようになっています。とても便利な機能ですが、更新中はパソコンが少々遅くなったり、パソコンの再起動が必要な場合もあり、面倒に感じることもあります。

しかし、Updateをせずに使い続けると、不具合が修正されなかったり、セキュリティの欠陥が残ってしまうなど、とても危険です。

**パソコンを安全に使い続ける為には、
常に最新の状態にしましょう！**

Windows Update更新中の注意

Windows Updateのダウンロード中やインストール中はパソコン全体の動作が遅くなります。異常ではありませんので、そのままご使用ください。



Windows Updateを行った後、Windowsのシャットダウンが左の様な画面になり、通常以上の時間が(10分～30分以上)かかることがあります。それはパソコンがUpdate後の再設定をおこなっていますのでその際は電源を無理やり切らずに自然にシャットダウンされるのを待ってください。

※異常状態が長く続くとき(20分以上画面が変わらない等)は電話サポートにお問い合わせください。

7.【活用編】インターネットブラウザ「Edge」の設定

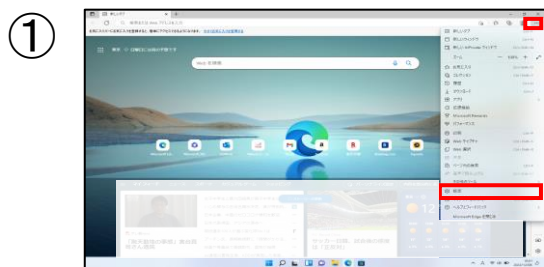
Windows11 でインターネットを見るときはEdge(エッジ)を使用します。



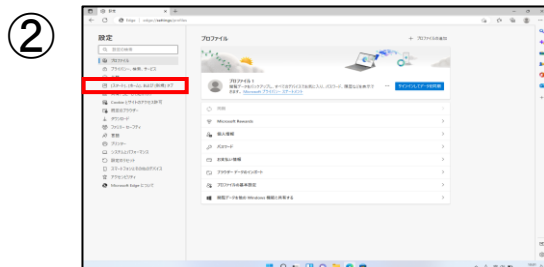
Edgeを起動した時に、最初に表示されるWebページは変更できます。
例として、Googleに変更する方法を紹介します。

Edge(エッジ)

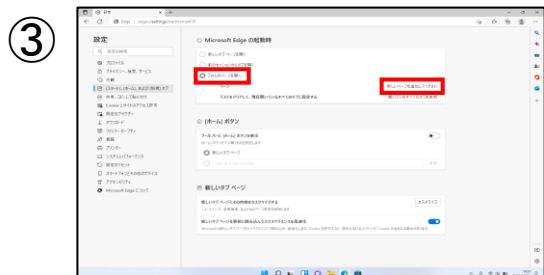
【変更手順】 Edgeを起動し、設定画面で設定変更します。



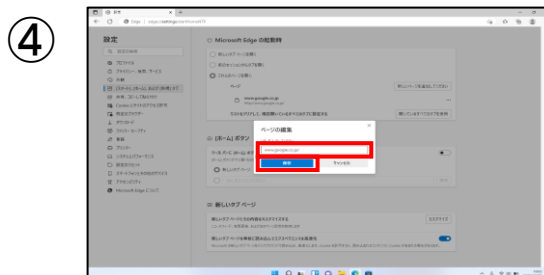
画面右上の「...」をクリックして
出てきたメニューの「設定」を
選択してください



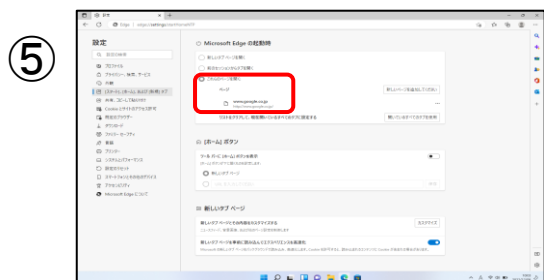
左列の上から4番目、【「スタート」
、「ホーム」、および「新規」
タブ】をクリックしてください。



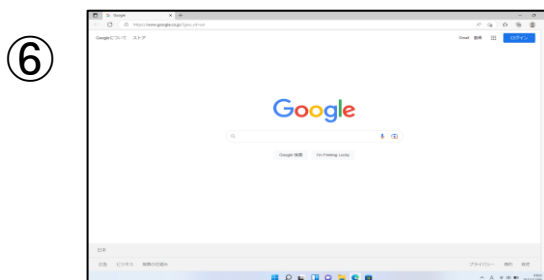
右側「これらのページを開く」のボタ
ンをクリックしてください。続けて右
の「新しいページを追加してください」
をクリックしてください。



「URLを入力してください」の欄に
GoogleのURL
[www.google.co.jp]を入力し、
「追加」ボタンをクリックします。



Googleのアイコンとともに、入力した
GoogleのURL情報等が表示されて
いることを確認。



次回、Edgeを起動するとGoogle
が表示されます。複数ページの
起動登録もできるので、よく使う
ページを登録してみましょう。

7. 【活用編】LANポート、USBポートについて

パソコンにはいくつか種類の異なる、差込口（ポート）があります。
それぞれ用途によって使い分けます。

④ LANコネクター（ポート）

LANコネクターは本体右側面の奥にあります。
コネクタカバーを引き出して先端を軽く押し上げるとご使用頂けます。

【右 側面】



【左 側面】



- ① ダイレクト・メモリスロット (microSDメモリーカード対応)
- ② USB 3.2 (Gen1) Type-A
- ③ HDMI出力端子
- ④ LANコネクター (RJ-45) 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T準拠
- ⑤ USB Type-C (USB Power Delivery対応)
- ⑥ USB Type-C
- ⑦ USB 3.2 (Gen1) Type-A (電源オフUSB充電機能付)
- ⑧ マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子
(φ3.5mmステレオ・ミニジャック)

7.【活用編】USB機器を使おう！

USBメモリやUSB HDDを使ってみましょう。USB機器はセットアップ済みパソコンのUSBポートへ挿すだけで自動認識してすぐに使えます。



□USBメモリ



□USB HDD

USBメモリやUSB HDDは「外部ストレージ」とも言い、データのバックアップや受け渡しに手軽で便利です。ただし、小さなものなので、なくしたり壊したりしないように注意しましょう。特に個人情報が含まれるデータを保存する際は紛失に注意です。(パスワードで保護できる機種もあります)

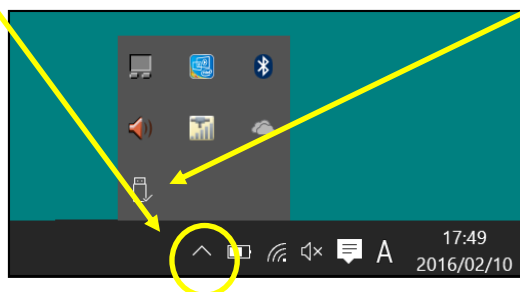
注意

外部ストレージを外すときは注意が必要です！

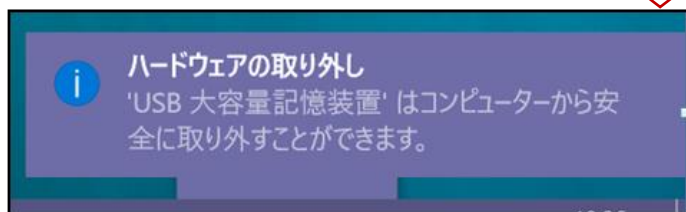
接続はこんなに簡単なUSB機器ですが、外すときは注意が必要です。必ず次の手順を踏んで外して下さい。

例、「USB Mass Storage Device」という名前のUSBメモリの取り出し方法

へをクリックし、表示されたアイコンから  を探しクリックします。



「USB Mass Storage Deviceの取り出し」をクリックします。



上図のメッセージが表示されてから、USBメモリを取り外して下さい。

7.【活用編】バックアップの必要性

パソコンの保存データのバックアップについて簡単に説明します。

【バックアップの必要性】

パソコンは人が作った機械です。必ずいつかは壊れます。
また、取り扱いや運が悪いと短期間で故障することもあります。

パソコンが故障してしまったときには、保存されていたファイルが壊れたり修理に出した際にデータが「全て消去」される場合があります。

また、うっかりミスで大事なデータを消してしまったり、悪意でデータを消してしまう「コンピュータウイルス」にかかることもあります。
そのような時の為に、大事なデータは定期的に「バックアップ」をして下さい。

【バックアップの基本】

基本は「パソコンが壊れて自分が苦労して作ったデータが消えてなくなること防ぐこと」です。原則は「大事なデータは2か所に保存」(パソコンと外部ストレージの2か所に保存が基本)です。

理由は「二つの機械が同時に壊れることはまずない」からです。

【バックアップ方法】

「バックアップ」は難しいことはありません。上記の基本を参考に、大事なデータをUSBにつないだ外部ストレージや下記の光学ディスクにも保存してください。それだけで完了です。

【バックアップの時期】

毎月始め等、定期的に計画して行いましょう。

また、大事なレポート作成中は随時(毎日、毎時、休憩毎)に実施。

【バックアップに必要な機器(別途購入が必要)】

① 外付けハードディスク(HDD)

最近では、「小型」で「大容量」のUSB接続のHDDも多く販売されています。USBポートに差込むだけで、簡単に使えます。



② USBメモリ

USBメモリも、USBポートに差込むだけで使えます。小型ですので持ち運びにも便利です。HDDより小容量です。



③ 外付ドライブとCD-RやDVD-Rなどの光学ディスク

CD-RやDVD-Rなどのディスクに保存も出来ます。ディスクなどメディア自体は安価です。



●用語集(五十音順)

◆ アップデート

ソフトウェアの小規模な更新、改善、修正、機能追加などのことを呼びます。
大規模な更新の場合はアップグレードと呼びます。

◆ アプリケーションソフト、アプリ

文書の作成、数値計算など、ある特定の目的のために設計されたソフトウェアのことを呼びます。

◆ インストール

パソコンでアプリケーションソフト(Wordやメールソフト等)が使用できるように
設定する為の作業です。

◆ シリアル番号

ハードウェアのメーカー側で所有者の管理や偽装を防止するなどの目的で
製品ごとに割り当てた番号。修理に出したり、ユーザー登録時に必要になります。

◆ ソフトウェア

OSとアプリケーションソフト等のプログラムの総称をソフトウェアと呼びます。

例: OS (Windows、Mac等)

アプリケーションソフト (Word、Edge、ウイルスバスター等)

◆ ダウンロード

インターネット上からファイル(文章、音楽、画像等)をパソコン上に保存する
作業です。

◆ スタート画面

パソコンのスタートボタンクリック後に表示される基本となる操作画面です。

スタート画面



◆ バックアップ

パソコンの中のデータをUSBメモリや外付けHDD等にコピーを行う作業です。
パソコンの故障や操作ミスによってデータが消えてしまった時の為に行います。
バックアップ例: 文書、写真、音楽、メール、インターネットのお気に入り等

◆ ハードウェア

パソコンを構成している部品や周辺機器等の総称をハードウェアと呼びます。
例: HDD、メモリ、キーボード、マウス、ディスプレイ、プリンタ、iPod等

◆ プロダクトキー

ソフトウェアのメーカー側でユーザ管理やソフトウェアの不正コピー防止のために
発行している番号。ソフトウェアのインストール時やユーザー登録時に使用する。

◆ メモリ

データの保存場所であるHDDから、データを処理するCPUに渡すデータを
一時的に置いておくための部品です。

メモリの容量が大きいと一度にたくさんのアプリケーションソフト(Word、
ブラウザ等)を使用できたり、動作がスムーズになります。



ノートパソコン用のメモリ

◆ ライセンス

ソフトウェアを購入した際にソフトウェアを使用する権利のこと。

◆ リカバリ(初期化)

パソコンを購入時の状態に戻す作業です。
パソコンが起動しなくなった際などに行います。

◆ ログイン/ログオフ

ログインはパソコンを利用したり、ホームページ内のサービスを利用する際にIDとパスワードを入力して認証をする作業です。
ログオフはパソコンやサービスの利用を終了する際に行う作業です。

◆ CPU(シーピーユー)

パソコン全体の処理・計算を行う、頭脳と言える部品です。
CPUが良いものであるほど、コンピュータは複雑で多くの処理を速く安定して行えます。

◆ HDD(ハードディスク)

パソコンの中でデータの読み書きを行う装置になります。
容量が多ければ多いほどたくさんのデータを書き込むことができます。

◆ SSD(エスエスディ)

HDD同様データの読み書きを行う装置になります。
SSDはHDDの機構部分をなくし、電子部品で構成された装置でHDDに比べ高速で消費電力が少ない特徴があります。

◆ LAN

ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークです。

◆ OS(オペレーティングシステム)

WindowsやMac等の主にパソコンのソフトウェアやハードウェアを管理する機能になります。

◆ Wi-Fi(ワイファイ)

無線LANの規格のひとつ。
最近ではWi-Fi＝無線LANといった意味で使われることが多いようです。

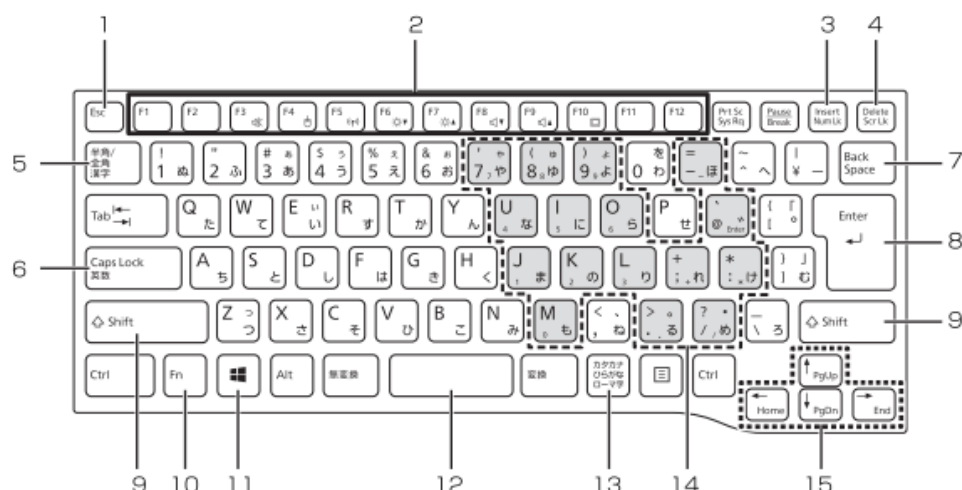
◆ 32bitと64bit

まずbit(ビット)とはパソコンで扱う情報量の最小単位です。
bitの単位が大きい方がよりCPUで多くの情報量を処理することができます。
※古いWindowsでは「32bit(ビット)」を使用していましたが、最近のパソコンは「64bit(ビット)」に切り替わりました、その為、以下の注意点があります。

・互換性の違い

一般に32 bit(ビット)用アプリケーションと64 bit(ビット)アプリケーションは互換性がありません。
古いアプリケーションソフトには32 bit(ビット)のみ対応の場合があり、Windows対応と記載されていても最近の64 bit(ビット) Windowsでは動作しないアプリケーションソフトがあります。
古いアプリケーションソフトをインストールする場合は64 bit(ビット)に対応しているか確認する必要があります。

●各種キーについて



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。青い刻印の機能は、**[Fn]** を押しながらそのキーを押して使います。

3 Num Lk キー

[Num Lk] を押すと、テンキーモードになります。もう一度押すと解除されます。

4 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

5 半角/全角キー

キーを押すごとに、半角入力/全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

6 Caps Lock キー

[Shift] を押しながら **[Caps Lock]** を押して、英大文字入力/小文字入力を切り替えます。

7 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

8 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

9 Shift キー

[Shift] を押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

11 Windows キー

スタート画面を表示したいときに押します。

12 空白 (Space) キー

文字を入力するときに、空白 (スペース) を入力します。

10 Fn キー

[Fn] を押しながら青い刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

[Fn] + [F3]

音声出力の ON/OFF を切り替えます。

[Fn] + [F4]

フラットポイントの有効/無効を切り替えます。

[Fn] + [F5]

[Web 補足情報]

本パソコンの内蔵アンテナを使用する無線通信機能の電波の発信/停止を切り替えます。

[Fn] + [F6]

画面を暗くします。

[Fn] + [F7]

画面を明るくします。

[Fn] + [F8]

音量を小さくします。

[Fn] + [F9]

音量を大きくします。

[Fn] + [F10]

外部ディスプレイを接続した場合に、液晶ディスプレイと外部ディスプレイで表示先を切り替えます。

[Fn] + [←/Home]

カーソルを行の最初に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [←/Home]

文章の最初に移動します。

[Fn] + [↑/Pg Up]

前の画面に切り替えます。

[Fn] + [↓/Pg Dn]

次の画面に切り替えます。

[Fn] + [→/End]

カーソルを行の最後に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [→/End]

文章の最後に移動します。

13 カタカナ/ひらがなキー

[Alt] を押しながら **[カタカナ/ひらがな]** (カタカナ/ひらがな) を押して、ローマ字入力/ひらがな入力を切り替えます。

14 テンキーになるキー

テンキーモードのときに、テンキーとして使えるキーです。

15 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

56